

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所

第1回定時総会 資料



— 感情と思考の先へ —

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality; and
That service to humanity is the best work of life.

和訳

我々はかく信じる
真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities that empower young people to create positive change.

和訳

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすためにリーダーシップの開発と成長の機会を提供する

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.

和訳

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる

J C 宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

関東地区宣言

わたしたちは
日本の礎として
あらゆる未来をみつめ
多様性溢れる 仲間と共鳴し
新たな価値の創造により
新時代の旗手となることを誓う

いばらき JAYCEE 宣言

いばらきの青年会議所は
多様な新世代（みらい）を見据え
信頼し合う仲間と共に成長し
1人ひとりが 革新の核となり
「持続可能ないばらき」に挑戦する

目 次

2025年度 第1回定時総会次第	3
第1号議案 2024年度 事業報告並びに収支決算報告（案）	4
(1) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長事業報告	
(2) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 総会・理事会報告	
(3) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 委員会事業報告	
(4) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 収支決算報告	
第2号議案 2025年度 事業計画並びに収支予算（案）	39
(1) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長所信	
(2) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 副理事長基本方針並びに委員会事業計画	
(3) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 収支予算	
第3号議案 その他	60
報告事項	
(1) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 組織図	62
(2) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 月例会主管スケジュール	63
(3) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 出向者報告	64
(4) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 卒業生の言葉	68

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所

第1回 定時総会次第

2025年1月29日

理事長 大西 敦
主 管 40周年
運営委員会
場 所 牛久市中央
生涯学習
センター
大講座室

副理事長 久原 康太

1. 開会宣言
2. 国歌斉唱
3. JCソング斉唱
4. JCIクリード唱和
5. JCIミッション唱和並びにJCIビジョン唱和
6. JC宣言朗読並びに綱領唱和
7. 関東地区宣言唱和
8. いばらきJAYCEE宣言唱和
9. 来賓並びに来訪JC紹介
10. 理事長挨拶
11. 直前理事長挨拶
12. 役員紹介
13. 報告確認依頼事項
14. 議事
 1. 議長選出
 2. 定足数並びに資料の確認
 3. 議事録作成人並びに署名人の指名
 4. 審議事項
 - 第1号議案 2024年度 事業報告並びに収支決算報告(案)の件
 - 第2号議案 2025年度 事業計画並びに収支予算(案)の件
 - 第3号議案 その他

財政局長 佐藤 昌平
副委員長 倉田奈緒子
次 長 石島 恵輔
副委員長 嶋村慎太郎
副委員長 椎名 理恵
専務理事 黒崎 雄太
理事長 大西 敦
直前理事長 美澤 貴人
専務理事 黒崎 雄太

副理事長 伊藤 裕一

15. 来賓挨拶
16. 感謝状贈呈
17. 監事講評
18. 閉会宣言

理事長 大西 敦
監 事 井上 健
監 事 篠木 達也
副理事長 伊藤 裕一

議案提案書

議案名 2024年度 事業報告並びに収支決算報告（案）

- (1) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長事業報告
- (2) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 総会・理事会報告
- (3) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 委員会事業報告
- (4) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 収支決算報告

2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長

事業報告

第39代 理事長 美澤 貴人

2024年度、一般社団法人 牛久青年会議所は「率先垂範～つなぐ心ひとつに～」をスローガンに掲げ運動展開してまいりました。

総務広報委員会には、第1回定時総会、第2回定時総会を主管していただきました。第1回定時総会では事業計画並びに収支予算など重要な議題について承認をいただき、改めて皆様の前で本年度の方針をお伝えすることができました。動員時からメンバー一人ひとりが重要な決議を行う場であるという意識を持つことで、全員参加の100%例会を達成し、幸先の良いスタートを切ることができました。第2回定時総会では、事業中間報告、そして、2025年度理事長予定者のお披露目、それに関わる案件を承認していただくことができました。次年度の40周年に向けて活気をつける意識を全員が持つことで第1回定時総会に続き、第2回定時総会も100%例会を達成することができました。厳粛な雰囲気の中、ベル・ザ・クラスの会場にて、多くのご来賓、近隣友好LOM、牛久青年会議所シニアクラブ先輩諸兄姉の皆さまをお招きし、盛大に開催できたこと、何よりも100%例会にてLOMの勢いを発信できたことを大変嬉しく思います。そして、理事会の設営、ホームページやSNSの発信、年間を通して会を支えていただきました。ただ単に、一方的な情報発信ではなく、情報を受け取る側が興味を持ち、楽しみ、共感ができるような、こだわりを持った情報発信を常に心がけていただき、誠にありがとうございました。

小山議長をはじめとする、未来拡大会議には、2月例会と6月例会を主管していただきました。2月例会「目標達成への道～自分が変われば相手も変わる～」では、上田博和先輩をお招きし、メンバー一人ひとりがリーダー育成の大切さを学び、組織全体で率先して会員拡大活動に携わるような意識を持つ必要性を感じることができました。そして、多くのオブザーブの方にもご参加いただき、入会につながる例会となりました。6月例会「笑顔と絆～楽しむことを忘れない～」では、オブザーブの方との交流を図り、青年会議所運動への理解や、興味を持っていただくために、第1部ではバーベキューを行い、第2部では青年会議所の魅力についてグループで話し合い、笑顔で楽しめる例会となりました。まずはメンバー一人ひとりが楽しむ意識を忘れないためにも、しっかりとした早めの動員を心がけることで全員参加の100%例会を達成することができました。小山議長をはじめ、未来拡大会議のメンバー全員が率先して楽しみながら青年会議所運動に取り組み、組織を牽引していただき、誠にありがとうございました。

黒崎委員長をはじめとする、40周年準備委員会には、3月例会と8月例会を主管していただきま

した。3月例会「仲間との絆～過去を知り新時代に繋げよう～」では、来年40周年という大きな節目を迎える前に、過去の功績を振り返り、先輩諸兄姉が紡いでこられた38年間という歴史をしっかりと理解したうえで、更なる成長に繋げていく重要性を再認識することができました。また、先輩諸兄姉から過去の事例や貴重なお話をいただき、40周年に向けて学びの多い例会となりました。8月例会「地域の宝牛久シャトーで夏祭り～日本遺産で作る夏の思い出～」では、牛久市の地域資源を活用し、青年会議所運動を通じ、多くの地域市民の方との交流をすることで来年に向けた40周年に繋げることができました。メンバー全員が40周年に向けて地域の方へ思いを伝える気持ちをひとつにし、100%例会を達成するとともに、カンチクアワード2024優秀事業賞を受賞することができました。色々な苦労があったかと思いますが、LOMにとって今後の糧となる素晴らしい例会を構築していただき、誠にありがとうございました。

大西局長をはじめとする、事務局・財政局には、4月例会と12月例会を主管していただきました。4月例会「私たちが考えるコンプライアンス～ルールを守るためにルールを知ろう～」では、コンプライアンスの徹底が叫ばれる昨今において、メンバー一人ひとりが青年会議所の組織運営や適切な予算の使い方、対外事業の意義を再認識し、コンプライアンス意識を強く持つことの必要性を改めて感じることができた例会となりました。12月例会「卒業式～その涙、未来を照らす」では、今まで青年会議所運動に邁進されてきました6名の卒業生の功績をたたえ、在籍メンバー全員で新たな門出を祝福することができました。会場の設営では在籍メンバーで一致団結してこだわりを持った設営をしていただきました。式の中での送辞、答辞ではとても感動深く、とても思い出に残る卒業式となりました。卒業生、在籍メンバー全員参加の100%例会にて来年度につながる良い1年の締めくくりとなりました。事務局・財政局、二局の担いは非常に多く、日々の動員や会議の取り纏め等、多岐にわたり、円滑な運営に遵守していただき、誠にありがとうございました。

久原委員長をはじめとする、次世代育成委員会には、5月例会と10月例会を主管していただきました。5月例会「はっけよい！牛久場所～ここが君たちの前相撲～」では、二所ノ関部屋の二所ノ関親方とお弟子さんをお招きし、小学生に向けて相撲を通して礼節や心身の鍛錬、力士とのふれあいを行い、子どもたちや保護者の方々にとっても良き思い出に残る例会となりました。10月例会では、「LOVE牛久～ここが私たちのふるさとだ～」では、エコフェスタ実行委員会と協力し、うしくみらいエコフェスタにてブース出展を行い、牛乳パックをリサイクルした万華鏡の作成、エコキャップを使用したエコキャップアートを行い、地元の子どもたちに牛久市をより一層知っていただく例会となりました。久原委員長らしい、地域発信の強い例会を構築していただき、誠にありがとうございました。

佐藤総括責任者をはじめとする、アカデミーメンバーには、7月例会を主管していただきました。7月例会「うしくっぱ祭りクリーンキーパー～日本一綺麗な祭りを作り上げよう～」では、昨今のコロナ禍によって、伝統行事が延期や中止に見舞われ、これまで先輩諸兄姉が作り上げてきた歴史や地域連携を再認識するために、大澤剛史先輩をはじめ、過去の歴代カップ隊長をお招きし、過去の貴

重なお話をいただきました。入会3年未満メンバーが多数在籍している中、当時の思いを振り返り、歴代カップ隊長の講話や、ディスカッションを通して、時代の変化に伴い、知らないことも数多く、貴重な学びとなりました。委員長総括での佐藤総括責任者の涙は、とても誇らしく、今後のアカデミーメンバーの糧となる例会を構築していただき、誠にありがとうございました。

山口総括責任者をはじめとする、卒業生メンバーには、11月例会を主管していただきました。11月例会「牛久青年会議所ダーツの旅～仲間との絆を深めよう～」では、各グループに分かれ、ダーツを投げ、その決まった場所へ各グループがそれぞれ向かい、例会を通してひとりではできないことも仲間とならできるということを伝え、一人ひとりが協力し合える絆の深い組織になったと実感できる例会となりました。最終動画には卒業生の思いが詰まっており、とても感動する演出でした。仲間の大切さが伝わる素晴らしい例会を構築していただき、誠にありがとうございました。

私は、たくさんの方々に支えられ、理事長の職の担いを終えることができた実感しております。こんなにも一生懸命に物事に取り組んだこと、人に感謝の気持ちを持てたこと、どれもかもが初めての経験でした。1年間という期間を駆け抜けてきた中で、たくさんの苦労はありましたが、私がいただいた苦労はどれも最高の苦労でした。その経験を生かして、家族、仕事、牛久市、子どもたちのために、生きていきたいと思えます。

結びとなりますが2025年度大西理事長のもとで牛久青年会議所が輝かしい成果をだされることを心からご祈念申し上げるとともに、2024年度を支えてくださいましたすべての方々へ心より御礼申し上げ、2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長事業報告とさせていただきます。

100%例会5回達成！カンチクアワード2024優秀事業賞受賞！

現役メンバーのみんな！自信を持って40周年へ 率先垂範～つなぐ心ひとつに～

2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 総会・理事会報告

第1回定時総会議事録

開催日時	2024年1月30日(火) 18時00分	開会
開催場所	ベル・ザ・クラス	
定足数	正会員24名中24名出席(内委任状出席0名)	
	定款第3章第22条及び第24条により本総会は成立	
議長	永井副理事長	
議事録作成人	大西事務局長	
議事録署名人	小山議長 久原委員長	
審議事項	第1号議案(提案者 篠木直前理事長)	
	2023年度 事業報告並びに収支決算報告(案)の件	
	採決(挙手) 賛成24名 反対0名 白票0名	により可決承認
	第2号議案(提案者 美澤理事長)	
	2024年度 事業計画並びに収支予算(案)の件	
	採決(挙手) 賛成24名 反対0名 白票0名	により可決承認

第2回定時総会議事録

開 催 日 時	2024年9月26日(木) 18時30分 開会
開 催 場 所	ベル・ザ・クラス
定 足 数	正会員27名中27名出席(内委任状出席0名) 特別会員1名中1名出席 定款第3章第22条及び第24条により本総会は成立
議 長	永井副理事長
議 事 録 作 成 人	大西事務局長
議 事 録 署 名 人	小山委員長 久原委員長
審 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 美澤理事長) 2024年度 事業中間報告並びに補正予算(案)の件 採決(挙手) 賛成27名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第2号議案(提案者 美澤理事長) 2024年度 定款改正(案)の件 採決(挙手) 賛成27名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第3号議案(提案者 選挙管理委員会) 2025年度 監事選任(案)の件 採決(挙手) 賛成27名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第4号議案(提案者 選挙管理委員会) 2025年度 理事選任(案)の件 採決(挙手) 賛成27名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第5号議案(提案者 大西理事長候補者) 2024年度 組織図(案)の件 採決(挙手) 賛成27名 反対0名 白票0名 により可決承認</p>

第1回臨時理事会議事録

開 催 日 時	2024年1月4日(木)
定 足 数	理事10名中10名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立
審 議 事 項	第1号議案(提案者 篠木直前理事長) 2024年度理事長、副理事長、専務理事選任(案)の件 書面決議にて全員賛成

第1回理事会議事録

開 催 日 時	2024年1月18日(木) 19時00分 開会
開 催 場 所	牛久市商工会館3階大会議室
定 足 数	理事10名中10名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立
議 事 録 作 成 人	美澤理事長 大西事務局長
議 事 録 署 名 人	石井監事 大澤監事
審 議 事 項	第1号議案(提案者 光武委員長) 2024年度 一般社団法人牛久青年会議所 1月例会(案)の件 採決(挙手) 賛成10名 反対0名 白票0名 により可決承認 第2号議案(提案者 小山議長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 2月例会(案)の件 採決(挙手) 賛成10名 反対0名 白票0名 により可決承認
協 議 事 項	第1号議案(提案者 黒崎委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 3月例会(案)の件 第2号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 4月例会(案)の件 第3号議案(提案者 久原委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 5月例会(案)の件

第2回臨時理事会議事録

開 催 日 時	2024年2月15日(木) 20時00分	開会
開 催 場 所	ZOOM	
定 足 数	理事10名中10名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立	
議 事 録 作 成 人	美澤理事長 大西事務局長	
議 事 録 署 名 人	石井監事 大澤監事	
審 議 事 項	第1号議案(提案者 吉田専務理事) 牛久シャトー日本遺産フェスタ 協力依頼承認(案)の件 採決(挙手) 賛成10名 反対0名 白票0名 により可決承認	

第2回理事会議事録

開 催 日 時	2024年2月22日(木) 19時00分 開会
開 催 場 所	牛久市商工会館3階大会議室
定 足 数	理事10名中10名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立
議 事 録 作 成 人	美澤理事長 大西事務局長
議 事 録 署 名 人	石井監事 大澤監事
審 議 事 項	第1号議案(提案者 光武委員長) 2024年度 一般社団法人牛久青年会議所 1月例会 決算(案)・報告の件 採決(挙手) 賛成10名 反対0名 白票0名 により可決承認 第2号議案(提案者 黒崎委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 3月例会(案)の件 採決(挙手) 賛成10名 反対0名 白票0名 により可決承認
協 議 事 項	第1号議案(提案者 大西事務局・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 4月例会(案)の件 第2号議案(提案者 久原委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 5月例会(案)の件

第3回理事会議事録

開 催 日 時	2024年3月21日(木)
開 催 場 所	牛久市商工会館3階大会議室
定 足 数	理事10名中9名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立
議 事 録 作 成 人	美澤理事長
議 事 録 署 名 人	大西事務局長 石井監事 大澤監事
審 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 小山議長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 2月例会 修正予算(案) 並びに報告の件 採決(挙手) 賛成9名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第2号議案(提案者 小山議長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 2月例会 決算(案)・報告の件 採決(挙手) 賛成9名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第3号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 4月例会(案)の件 採決(挙手) 賛成9名 反対0名 白票0名 により可決承認</p>
協 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 庶務規定改正(案)の件</p> <p>第2号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 役員及び理事長候補者名簿作成に関する規定改正(案)の件</p>
レクリエーション	<p>第1号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 レクリエーション(案)の件</p>

第4回理事会議事録

開 催 日 時	2024年4月18日(木) 19時00分 開会
開 催 場 所	牛久市商工会館3階大会議室
定 足 数	理事10名中10名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立
議 事 録 作 成 人	美澤理事長
議 事 録 署 名 人	大西事務局長 石井監事 大澤監事
審 議 事 項	第1号議案(提案者 黒崎委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 3月例会 決算(案)・報告の件 採決(挙手) 賛成10名 反対0名 白票0名 により可決承認
協 議 事 項	第1号議案(提案者 小山議長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 6月例会(案)の件 第2号議案(提案者 佐藤総括責任者) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 7月例会(案)の件 第3号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 庶務規定改正(案)の件 第4号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 役員及び理事長候補者名簿作成に関する規定改正(案)の件 第5号議案(提案者 吉田専務理事) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 選挙管理委員会指名(案)の件

第5回理事会議事録

開 催 日 時	2024年5月23日(木) 19時00分 開会
開 催 場 所	牛久市商工会館3階大会議室
定 足 数	理事9名中7名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立
議 事 録 作 成 人	長 美澤理事長 大西事務局長
議 事 録 署 名 人	石井監事 大澤監事
審 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 小山議長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 新入会員(藤枝一翔氏)承認(案)の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第2号議案(提案者 小山議長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 新入会員(遠藤真広氏)承認(案)の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第3号議案(提案者 大西事務局・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 4月例会(案)の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第4号議案(提案者 大西事務局・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 庶務規定改正(案)の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第5号議案(提案者 大西事務局・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 役員及び理事長候補者名簿作成に関する規定改正(案)の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第6号議案(提案者 吉田専務理事) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 選挙管理委員会指名(案)の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p>
協 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 小山議長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 6月例会(案)の件</p> <p>第2号議案(提案者 佐藤総括責任者) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 7月例会(案)の件</p> <p>第3号議案(提案者 黒崎委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 8月例会(案)の件</p>

第6回理事会議事録

開 催 日 時	2024年6月20日(木) 19時00分 開会
開 催 場 所	牛久市商工会館3階大会議室
定 足 数	理事9名中8名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立
議 事 録 作 成 人	美澤理事長
議 事 録 署 名 人	大西事務局長 石井監事 大澤監事
審 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 久原委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 5月例会決算(案) ・報告の件 採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第2号議案(提案者 小山議長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 6月例会(案)の件 採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第3号議案(提案者 佐藤総括責任者) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 7月例会(案)の件 採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名 により可決承認</p>
協 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 黒崎委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 8月例会(案)の件</p> <p>第2号議案(提案者 石島副理事長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 9月例会(案)の件</p> <p>第3号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 定款改正(案)の件</p> <p>第4号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 会員資格規程改正(案)の件</p> <p>第4号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 運営規程改正(案)の件</p> <p>第5号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 補正予算(案)の件</p>

第7回理事会議事録

開 催 日 時	2024年7月18日(木) 19時00分 開会
開 催 場 所	牛久市商工会館3階大会議室
定 足 数	理事9名中8名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立
議 事 録 作 成 人	美澤理事長
議 事 録 署 名 人	大西事務局長 石井監事 大澤監事
審 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 黒崎委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 8月例会(案)の件 採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第2号議案(提案者 吉田専務理事) 牛久みらいエコフェスタ講演依頼承認(案)の件 採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第3号議案(提案者 吉田専務理事) 牛久サウスBBCチャリティー野球交流大会 後援依頼承認(案)の件 採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名 により可決承認</p>
協 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 石島副理事長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 9月例会(案)の件</p> <p>第2号議案(提案者 久原委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 10月例会(案)の件</p> <p>第3号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 定款改正(案)の件</p> <p>第4号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 運営規程改正(案)の件</p> <p>第5号議案(提案者 大西事務局長・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 補正予算(案)の件</p>

第8回理事会議事録

開 催 日 時	2024年8月23日(木) 19時00分	開会
開 催 場 所	牛久市商工会館3階大会議室	
定 足 数	理事9名中7名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立	
議 事 録 作 成 人	美澤理事長 大西事務局長	
議 事 録 署 名 人	石井監事 大澤監事	
審 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 小山議長)</p> <p>2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 新入会員(軽部知可良氏)承認(案)の件</p> <p>採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第2号議案(提案者 小山議長)</p> <p>2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 新入会員(大吉正幸氏)承認(案)の件</p> <p>採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第3号議案(提案者 小山議長)</p> <p>2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 6月例会決算(案)並びに報告の件</p> <p>採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第4号議案(提案者 佐藤総括責任者)</p> <p>2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 7月例会決算(案)並びに報告の件</p> <p>採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第5号議案(提案者 黒崎委員長)</p> <p>2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 8月例会 youtube 配信(案)の件</p> <p>採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第6号議案(提案者 石島副理事長)</p> <p>2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 9月例会(案)の件</p> <p>採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第7号議案(提案者 大西事務局・財政局長)</p> <p>2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 定款改正(案)の件</p> <p>採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第8号議案(提案者 大西事務局・財政局長)</p> <p>2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 補正予算(案)の件</p> <p>採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第9号議案(提案者 吉田専務理事)</p> <p>第29回牛久現代美術展後援依頼承認(案)の件</p> <p>採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p>	

第9回理事会議事録

開 催 日 時	2024年9月19日(木) 19時00分 開会
開 催 場 所	牛久市商工会館3階大会議室
定 足 数	理事9名中7名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立
議 事 録 作 成 人	美澤理事長
議 事 録 署 名 人	大西事務局長 石井監事 大澤監事
審 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 黒崎委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 8月例会修正予算(案)の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第2号議案(提案者 黒崎委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 8月例会決算(案)・報告 の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第3号議案(提案者 石島副理事長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 9月例会総会資料(案)の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第4号議案(提案者 久原委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 10月例会決算(案)の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第5号議案(提案者 吉田専務理事) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 予定者名刺作成における JCIマーク使用並びに青年会議所名使用承認(案)の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第6号議案(提案者 石島副理事長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 卒業生横断幕・のぼり作成(案) の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第7号議案(提案者 吉田専務理事) 第33回牛久ジュニア体操クラブ後援承認(案)の件 採決(挙手) 賛成7名 反対0名 白票0名 により可決承認</p>
協 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 山口総括責任者) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 11月例会(案)の件</p> <p>第2号議案(提案者 黒崎委員長) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 2025年度40周年記念 式典、祝賀会開催日時・場所承認並びに横断幕・のぼり(案)の件</p>

第10回理事会議事録

開催日時	2024年10月17日(木) 19時00分	開会
開催場所	牛久市商工会館3階大会議室	
定足数	理事9名中8名出席	
	定款第5章第40条により本理事会は成立	
議長	美澤理事長	
議事録作成人	大西事務局長	
議事録署名人	石井監事 大澤監事	
審議事項	第1号議案(提案者 石島副理事長)	
	2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所	9月例会決算(案)
	・報告の件	
	採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名	により可決承認
	第2号議案(提案者 大西事務局長・財政局長)	
	2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所	運営規定改正(案)の件
	採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名	により可決承認
	第3号議案(提案者 大西事務局長・財政局長)	
	2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所	会員資格規程改正(案)の件
	採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名	により可決承認
	第4号議案(提案者 山口総括責任者)	
	2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所	11月例会(案)の件
	採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名	により可決承認
協議事項	第1号議案(提案者 大西事務局長・財政局長)	
	2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所	12月例会(案)の件
	第2号議案(提案者 大西事務局長・財政局長)	
	2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所	決算(案)の件
	第3号議案(提案者 黒崎委員長)	
	2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所	2025年度40周年記念式典、祝賀会開催日時・場所承認並びに横断幕・のぼり(案)の件

第11回理事会議事録

開 催 日 時	2024年11月21日(木) 19時00分 開会
開 催 場 所	牛久市商工会館3階大会議室
定 足 数	理事9名中8名出席 定款第5章第40条により本理事会は成立
議 事 録 作 成 人	美澤理事長 大西事務局長
議 事 録 署 名 人	石井監事 大澤監事
審 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 小山議長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 新入会員(井谷 琳氏)承認(案)の件 採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第2号議案(提案者 久原委員長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 10月例会決算(案)並びに報告の件 採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第3号議案(提案者 大西事務局・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 12月例会(案) 採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第4号議案(提案者 黒崎委員長) 2025年度40周年記念式典、祝賀会開催日時・場所承認並びに横断幕・のぼり(案)の件 採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名 により可決承認</p> <p>第5号議案(提案者 吉田専務理事) 牛久沼花火大会協力依頼承認(案)の件 採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名 により可決承認</p>
協 議 事 項	<p>第1号議案(提案者 大西事務局・財政局長) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 決算(案)の件</p>

第12回理事会議事録

開催日時	2024年12月19日(木)	19時00分	開会
開催場所	牛久市商工会館3階大会議室		
定足数	理事9名中8名出席		
議長	美澤理事長		
議事録作成人	大西事務局長		
議事録署名人	石井監事 大澤監事		
審議事項	第1号議案(提案者 山口総括責任者)		
	2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所	11月例会修正予算(案)の件	
	採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名	により可決承認	
	第2号議案(提案者 山口総括責任者)		
	2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所	11月例会決算(案)の件	
	採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名	により可決承認	
	第3号議案(提案者 山口総括責任者)		
	2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所	youtube 配信(案)の件	
	採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名	により可決承認	
	第4号議案(提案者 大西事務局長・財政局長)		
	2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所	12月例会決算(案)・	
	報告の件		
	採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名	により可決承認	
	第5号議案(提案者 大西事務局長・財政局長)		
	2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所	決算(案)の件	
	採決(挙手) 賛成8名 反対0名 白票0名	により可決承認	
協議事項	なし		

2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 委員会事業報告

委員会事業報告

未来拡大会議

議長 小山 大輔

本年度の未来拡大会議では2月例会と6月例会を担当させていただきました。

2月例会では「目標達成への道」～自分が変われば相手も変わる～を開催しました。一般社団法人 牛久青年会議所に最も必要な会員拡大を自らがリーダーシップを発揮し率先して会員拡大運動をしていくために、「情熱の伝道師」の異名をもつ上田博和先輩に講師として熱い思いをご講演いただきました。オブザーブの方や他LOMの方にもお越しいただき会員拡大に対する意識の変革に繋げることができました。

6月例会では「笑顔と絆」～楽しむことを忘れない～を開催しました。この例会を構築するうえで最も大切にしていたのが、本気で楽しむということでした。まずは現在在籍しているメンバーが、一般社団法人 牛久青年会議所の魅力や楽しさを再認識することで質の高い拡大運動に繋がると思ったからです。オブザーブで来てくれた方に、楽しんで参加していただけるようにBBQを行い、グループで競い合うモルックゲームで盛り上がり一般社団法人 牛久青年会議所らしさをオブザーブの方に感じていただくことができ、1名の入会に繋げることができました。ずっと憧れていた100%例会も達成することができました。

本年度の未来拡大会議は10名の入会を目標にスタートしましたが、結果は5名と目標は未達という結果でした。しかし、美澤貴人理事長をはじめ、委員会のメンバーと共に目標達成に向け本気で取り組むことができたこと、自らの考えで積極的に対象者に向け行動できたのは、常に支えてくれ応援してくれるメンバーがいたからです。至らないことだらけの議長でしたが、皆様の支えにより走りきることができたことを心から感謝いたします。

結びに、このような貴重な機会を与えていただきました美澤貴人理事長をはじめとする一般社団法人 牛久青年会議所のメンバーに感謝を申し上げ、委員会事業報告とさせていただきます。ありがとうございました。

委員会事業報告

次世代育成委員会
委員長 久原 康太

次世代育成委員会では、5月、10月例会を主管させていただきました。

5月例会では、「はっけよい牛久場所～ここが君たちの前相撲～」と題し、二所ノ関部屋の二所ノ関親方及びお弟子さんに協力いただき、子ども達に対して、相撲を通して学校とは違った環境で心身の鍛錬と礼節、喜びや達成感、悔しさを学ぶきっかけを作る事業を行いました。参加者の動員に苦戦しながらも現役、シニアの先輩方の協力の下、無事満員で開催することができました。参加した子ども達から「楽しかった」「負けて悔しかった」「勝って嬉しかった」との感想をいただき子ども達の成長の機会を提供でき、事業の目的の達成にも繋がりました。また、親御さんからも「子どもの成長を感じられた」「真剣に取り組む姿を見ることができて良かった」という感想をいただき子ども達だけでなく保護者の方からも嬉しいお言葉をいただきました。

普段なかなか関わることのない力士の方と一緒に事業を開催することで、子ども達だけではなく委員会一同とても貴重な体験をさせていただくことができました。

10月例会では「LOVE牛久～ここが私たちのふるさとだ～」と題し、牛久みらいエコフェスタ実行委員会と協力し牛久みらいエコフェスタの中で例会を実施いたしました。限られた予算の中での事業構築だったため、委員会でしっかり考え牛乳パックを使った万華鏡作り、エコバック作成、エコキャップアートを行いました。参加いただいた子ども達にエコを通して環境について考えていただくことで牛久市への誇りを持ってもらい郷土愛の醸成を行うことができました。エコバックやエコキャップについては委員会だけでは到底集めきれない量でしたが、メンバー全員に協力いただき目標数を集めることができました。

また、牛久みらいエコフェスタ実行委員会と協力させていただいたことで、前日の準備から当日駐車場誘導や撤収作業を行い牛久市で行う大きなイベントと一緒に作り上げていくという貴重な体験をさせていただくことができました。10月例会を通して、他団体との協力や子ども達との関わりを持つことのできる非常に有意義な経験を得ることができました。

1年間通して次世代育成委員会が団結し、一人ではできないようなことも委員会で力を合わせて行うことで大きな事業を行うことができました。このような素晴らしい体験をさせていただき本当にありがとうございました。

以上、委員会事業報告とさせていただきます。

委員会事業報告

総務広報委員会
副委員長 椎名 理恵

総務広報委員会では1月と9月に第1回定時総会、第2回定時総会の主管をさせていただきました。メンバー皆様の協力もあり滞りなく、厳粛な雰囲気の中、予定しておりました全議案が可決承認されました。1月、9月の定時総会では100%例会が達成できました。メンバー1人ひとりが率先して声を掛けていただいたことで、達成できたと実感しております。

また、総務広報委員会では、理事会の設営、例会でのセレモニー運営、会員名簿の作成、各スケジュールの調整管理、情報の記録、備品の管理をし、SNSやホームページの更新等は、早めの更新に心がけ投稿ができたと思います。各委員会と連携を図りながら、組織が円滑に運営できるように努める事ができました。

2025年度には40周年を迎える記念すべき年に向け、より多くの地域の皆様に青年会議所の活動を知っていただくために、SNSやホームページを活用し時代に即した発想で受け手側が活動を理解していただきながら、共感できるような広報活動を努めていけたと感じております。

結びに、総務広報委員会の副委員長として至らない所があったと思いますが、組織の運営に関わる立場として委員会メンバーと協力しやり遂げることができたと思います。総務広報委員会のみなさん、1年間本当にありがとうございました。

以上、委員会事業報告とさせていただきます。

委員会事業報告

40周年準備委員会

委員長 黒崎 雄太

本年度、40周年準備委員会では、3月例会と8月例会を主管させていただきました。

3月例会では、「仲間との絆～過去を知り新時代に繋げよう～」と題し、第1部では周年を経験された理事長、専務理事、実行委員長の方に、事前に当時の想いについてのヒアリングをさせていただき、委員会でまとめた内容を発表させていただきました。第2部では、先輩諸兄姉を交えてのグループワークをさせていただき、先輩方から貴重なお話をたくさんしていただきました。第3部では、グループワークで話し合った内容を発表し、共有することで、メンバー間の意識統一に繋がり、先輩諸兄姉と現役メンバーが40周年に向けての弾みをつけていただく内容になりました。

8月例会では、「地域の宝牛久シャトーで夏祭り～日本遺産で作る夏の思い出～」と題し、牛久市を代表する地域資源でもある牛久シャトーにてLEDスカイランタン®を上げる事業を行いました。来場者の方も3,000人を超える来場者の動員に繋がりました。また、牛久市にまつわる謎解きゲームを行い、謎を解きながら、参加者の方には牛久市の事や魅力を感じていただく事業を開催いたしました。その他にも、牛久市内の小・中学生を対象として、未来の牛久シャトーを考えていただき、ぶどう型のシールと星形のシールを配らせていただき、パネルいっぱいになるほど子供たちからの想いを受け取り掲示することで、来場者の方に子供たちが未来のために考える姿を知っていただくことができました。8月例会のフィナーレとして、LEDスカイランタン®に参加者の方が願いを書き込んでいただいたものを打ち上げ牛久シャトーとの幻想的な雰囲気をつくることができました。そして、100%例会でメンバー全員が参加してくれたことで、40周年に向けて勢いをつける例会を開催することができました。これもひとえに、本事業に賛同してご協力いただきました、先輩諸兄姉をはじめ、行政や多くの団体様のお力があってのことだと確信しております。さらに嬉しいことといたしましては、関東地区アワードにおきまして、効用最大化事業開発部門において、優秀事業賞をいただくことができました。また、本例会の事業風景をYouTube配信し、牛久市の可能性を牛久市内のみならず、多くの方に発信できたことを確信しております。

結びに、40周年準備委員会に、このような機会をくださった第39代 美澤 貴人 理事長に感謝申し上げるとともに、1年間を通して、全ての活動にご協力いただきました、メンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。以上、40周年準備委員会の事業報告とさせていただきます。

委員会事業報告

事務局・財政局
局長 大西 敦

事務局・財政局では、普段行っている事務局・財政局としての活動に加え、4月例会並びに12月例会を主管させていただきました。

4月例会では、コンプライアンスをテーマに、定款・規程について、検証する例会を開催したうえで、定款と規程の改定作業を進め、定款に関しましては、9月総会の際に、総会決議をもって無事改正をいたしました。

12月例会では、「卒業式～その涙、未来を照らす道しるべ～」を開催し、多くのメンバー先輩諸兄姉の皆様に見守られ、卒業生6名の門出を祝うことができました。ベル・ザ・クラスで開催した最後の例会となり、今後会場選定等に課題が生じることとなりますが、本年度の反省点をしっかりと次年度につないで参りたいと思います。

本年度の事務局・財政局は、吉田専務理事の監督のもと、佐藤次長、遠藤局員という体制で運営してまいりました。メンバーの助けを借りながら、スムーズな運営に協力していただくことができ一年間の職務を全うすることができました。事務局・財政局のメンバーは、次年度も組織の中核となる役職を担ってまいります。改めて、事務局・財政局メンバー一同、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

以上、事務局・財政局の事業報告とさせていただきます。

委員会事業報告

アカデミーメンバー
総括責任者 佐藤 晃輔

本年度、一般社団法人 牛久青年会議所では、アカデミーメンバーが主体となり、7月例会を主管させていただきました。

現在、アカデミーメンバーはまだまだ経験が浅く、新型コロナウイルスにより、活動と運動に制限がありましたが徐々に制限が無くなりました。そこでアカデミーメンバー、一人ひとりが一般社団法人 牛久青年会議所のこれからを担うことを自覚することを目的とし、牛久市、牛久市民に希望を与えられる事業を開催いたしました。

7月例会『うしくかっぱ祭りクリーンキーパー～日本一綺麗な祭りを作り上げよう～』と題し、これまでうしくかっぱ祭りクリーンキーパーの設営から運営までの責任者、大澤 剛史 先輩をはじめ、歴代かっぱ隊長をお呼びし、うしくかっぱ祭りクリーンキーパーを行う上で、注意点や改善点を講和していただきました。うしくかっぱ祭りクリーンキーパーに対する設営面、運営面の再認識することができました。おかげさまで、うしくかっぱ祭りクリーンキーパーは、問題なく終えることが出来ました。学びや想いをしっかりと引継ぎ、今後とも牛久市、牛久市民の皆さんに希望を与えられるようにしていきたいと思っております。

結びに、総括責任者という機会を与えてくださった第39代 美澤 貴人 理事長に感謝申し上げますとともに、一般社団法人 牛久青年会議所のメンバー、先輩諸兄姉の皆様にごころより感謝申し上げます。

以上、アカデミーメンバーの事業報告とさせていただきます。

委員会事業報告

卒業生メンバー

総括責任者 山口 徹

本年度、一般社団法人 牛久青年会議所では、11月に卒業生が主体となる例会として「牛久青年会議所ダーツの旅～仲間との絆を深めよう～」を開催させていただきました。

卒業記念動画を作成するため、グループごとにダーツを投げて行き先を決め、その行き先で写真を撮影してきてもらい最後にスライドショーにした卒業記念動画を作成し、上映しました。

卒業記念動画を作成する過程の中で、ひとりではできないことも仲間とならできるということを伝え、一人ひとりが協力し、一般社団法人 牛久青年会議所の絆を深めることができ、卒業記念動画を見て、一般社団法人 牛久青年会議所のメンバーの笑顔も見れ卒業生メンバーも嬉しく思うと同時に思い出に残るようなとても素晴らしい事業を開催することができました。

また、会員数が少なくなっている中で、絆の深さが素晴らしい団体を作り上げ自然とその団体に入りたいと思う人が増えてくるのではないかと感じております。

そして、今後の青年会議所活動においても、辛いときこそ仲間に頼り、その辛さを乗り越えた時には絆が深まっていくという事を心のどこかに残しておいてもらえると今後の牛久青年会議所がより良い団体になると思い、本例会をやらせていただいた意味がより深まるかと思えます。

結びになりますが、卒業生メンバーにこのような機会を与えてくださった第39代 美澤 貴人理事長に感謝申し上げますとともに、ご協力いただきました、一般社団法人 牛久青年会議所の皆様に感謝申し上げます。

以上、卒業生メンバーの事業報告とさせていただきます。

2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 収支決算報告（案）

2024年度 一般社団法人牛久青年会議所 総会計正味財産増減計算書(案)

作成者 財政局長 大西敦
 適用期間 2024年1月1日から2024年12月31日
 (単位:円)

科目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取会費	2,236,000
正会員会費	2,196,000
入会金	100,000
年会費	2,096,000
特別会員入会金	40,000
特別会員年会費	0
② 雑収入	1,037,800
受取利息	264
雑収入	1,180,800
その他雑収入	300,000
③ 他会計からの繰入金	0
特別会計(40周年記念事業準備資金からの繰入金)	0
特別会計(災害義援金からの繰入金)	0
経常収益計	3,717,064
(2) 経常費用	
① 事業費	1,797,591
未来拡大会議(2024)	153,152
次世代育成委員会(2024)	298,609
総務広報委員会(2024)	62,463
40周年準備委員会(2024)	1,148,226
卒業生(2024)	75,011
事務局・財政局(2024)	39,975
アカデミーメンバー(2024)	20,155
② 管理費	969,696
通信運搬費	
電話代	87,154
運搬代	4,720
消耗品費	161,870
コピー用紙・インク代	0
図書・研修費	0
印刷製本費	198,000
業務委託費	36,742
渉外費	46,510
雑費	11,657
支払手数料	9,470
水道光熱費	25,481
地代家賃費	388,092
③ 負担金	630,708
日本JC会費(基本額)	30,000
日本JC会費(付加金)	135,000
JCI会費	62,608
国際協力資金	51,100
機関誌購読料(We Believe)	74,000
地区協議会会費	36,000
ブロック協議会会費	98,000
ブロック協議会負担金	72,000
ブロック協議会会議費	20,000
ブロック大会登録料	0
日本JC負担金	0
サマーコンファレンス負担金	0
ブロック周年祝い金	24,000
関東地区大会登録料	0
京都会議登録料	8,000
常磐線東京駅乗り入れ推進協議会 会費	10,000
公開討論会実行委員会協賛金	0
牛久市国際交流協会会費	10,000
④ 他会計への繰入金支出	300,000
40周年記念事業資金への繰入金支出	300,000
設備・什器資金への繰入金支出	0
ブロック大会準備金への繰入金支出	0
経常費用計	3,697,995
当期経常増減額	19,069
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	19,069
一般正味財産期首残高	2,879,979
一般正味財産期末残高	2,899,048
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	129,919
指定正味財産期首残高	3,405,203
指定正味財産期末残高	3,535,122
III 正味財産期末残高	6,434,170

2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 決算(案)

作成者 財政局長 大西 敦
適用期間 2024年1月1日から2024年12月31日
(単位:円)

【第1部:本会計】				
科目	2024年度補正予算	2024年度決算(案)	増減	摘要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入				
正会員入会金収入	200,000	100,000	△ 100,000	入会予定者5名×20,000円
特別会員入会金収入	40,000	40,000	0	特別会員予定者1名(根本翔平)×40,000円
入会金収入計	240,000	140,000	△ 100,000	
② 会費収入				
正会員年会費収入	2,181,000	2,096,000	△ 85,000	29名(正会員24名+入会予定者5名)
特別会員年会費収入	0	0	0	
会費収入計	2,181,000	2,096,000	△ 85,000	
③ 事業収入				
委員会事業会計収入				
登録料収入	140,000	143,000	3,000	5月例会75,000円、6月例会65,000円
広告料収入	0	0	0	
販売収入	300,000	300,000	0	8月例会スカイランタン
雑収入	730,000	737,800	7,800	8月例会協賛金、11月例会協賛金
④ 雑収入				
受取利息収入	0	264	264	
その他雑収入	300,000	300,000	0	シニアクラブからの支援金20万円、一般社団法人竜ヶ崎青年会議所からの支援金10万円
⑤ 他会計からの繰入金収入				
特別会計からの繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入計	3,891,000	3,717,064	△ 173,936	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
事業費支出				
未来拡大会議(2024)	156,548	153,152	△ 3,396	2月例会、6月例会
次世代育成委員会(2024)	299,000	298,609	△ 391	5月例会、10月例会
総務広報委員会(2024)	75,000	62,463	△ 12,537	1月例会、9月例会
40周年準備委員会(2024)	1,148,048	1,148,226	178	3月例会、8月例会
卒業生(2024)	70,000	75,011	5,011	11月例会
事務局・財政局(2024)	108,000	39,975	△ 68,025	4月例会、12月例会
アカデミーメンバー(2024)	20,155	20,155	0	7月例会
事業予備費支出				
事業費支出計	1,876,751	1,797,591	△ 79,160	
② 管理費支出				
通信運搬費支出				
電話代支出	85,000	87,154	2,154	NTT(2023.12~2024.11)電報代省く、プロバイダ(OCN)
運搬代支出	13,000	4,720	△ 8,280	切手代他
消耗品支出	178,260	161,870	△ 16,390	新入会員バッチ・プレート代(10名)、卒業生横断幕、卒業生記念品(6名)、ミニゴング
コピー用紙・インク代支出	3,500	0	△ 3,500	
印刷製本費支出	198,000	198,000	0	特別会員用の手帳代、148名(特別会員数147名+23年度卒業生1名)×1,000円、手帳デザイン費50,000円
業務委託支出	36,675	36,742	67	ドメイン料金7,500円(2024.1~12)、役員変更登記料29,175円
渉外費・支援金等準備資金	73,736	46,510	△ 27,226	慶弔費20,000円、電報代23,736円(総会・周年)、支援金等準備資金、京都会議並びに全国大会祝儀(土浦:5,000円、竜ヶ崎:5,000円)×1
雑支出	758	11,657	10,899	鍵の交換
支払手数料支出	5,000	9,470	4,470	
水道光熱費支出	45,000	25,481	△ 19,519	
地代家賃支出	388,961	388,092	△ 869	1ヵ月31,472円×12ヵ月、イス、テーブル代10,428円
管理費支出計	1,027,890	969,696	△ 58,194	
③ 負担金支出				
日本JC会費(基本額)	30,000	30,000	0	0年当初の正会員数が正会員1名から50名までは30,000円、51名からは25名増すごとに15,000円加算
日本JC会費(付加金)	150,000	135,000	△ 15,000	24名×5,000円+2名×5,000円+2名×2,500円
JCI会費	76,024	62,608	△ 13,416	28名×2,236円
国際協力資金	62,050	51,100	△ 10,950	28名×1,825円
機関誌購読料(We Believe)	82,750	74,000	△ 8,750	27名分
地区協議会会費	23,000	36,000	13,000	24名×1,000円+10,000円(基本金)+2名×1,000円
ブロック協議会会費	98,000	98,000	0	24名×3,000円+20,000円(基本金)+2名×3,000円
ブロック協議会負担金	72,000	72,000	0	24名×3,000円
ブロック協議会会費	0	20,000	20,000	
ブロック大会登録料	0	0	0	
日本JC負担金	40,000	0	△ 40,000	
サマーコンファレンス負担金	0	0	0	
ブロック周年祝い金	24,000	24,000	0	24名×(1LOM×1,000円)石岡
関東地区大会登録料	0	0	0	
京都会議登録料	8,000	8,000	0	
常磐線東京駅乗り入れ推進協議会 会費	10,000	10,000	0	
公開討論会実行委員会協賛金	0	0	0	
牛久市国際交流協会会費	10,000	10,000	0	
負担金支出計	685,824	630,708	△ 55,116	
④ 他会計への繰入金支出				
40周年記念事業資金への繰入金支出	300,000	300,000	0	【第2部:40周年記念事業準備資金会計】
災害義援金への繰り入れ支出	0	0	0	【第3部:災害義援金支払会計】
設備・什器資金への繰入金支出	535	0	△ 535	【第4部:設備・什器会計】
他会計への繰入金支出計	300,535	300,000	△ 535	
事業活動支出計	3,891,000	3,697,995	△ 193,005	
事業活動収支差額	0	19,069	19,069	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計				
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
周年事業積立資産取得支出				
投資活動支出計				
投資活動収支差額				
III 予備費支出				
当期支出計	3,891,000	3,697,995	△ 193,005	
当期収支差額	0	19,069	19,069	
前期繰越収支差額	2,879,979	2,879,979	0	
次期繰越収支差額	2,879,979	2,899,048	19,069	

【第2部：40周年記念事業準備資金会計】

(単位：円)

科目	2024年度補正予算	2024年度決算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1. 繰入金収入				
① 一般会計繰入金収入 一般会計繰入金収入	300,000	300,000	0	LOM周年積立金
② 特別会計繰入金収入 特別会計繰入金収入	0	0	0	
繰入金収入計	300,000	300,000	0	
2. 資産運用収入				
① 受取利息収入 受取利息収入	0	239	239	
② 雑収入 雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	0	239	239	
当期収入計(A)	300,000	300,239	239	
II 支出の部				
1. 繰入金支出				
① 一般会計繰入金支出	0	0	0	
② 特別会計繰入金支出	0	0	0	
2. 特別支出				
特別支出	0	170,324	170,324	40周年横断幕、のぼり代
繰入金支出計	0	170,324	170,324	
当期支出計(B)	0	170,324	170,324	
当期収支差額(A)-(B)	300,000	129,915	△ 170,085	
前期繰越収支差額	3,405,199	3,405,199	0	
次期繰越収支差額	3,705,199	3,535,114	△ 170,085	

【第3部：災害義援金支払会計】

(単位：円)

科目	2024年度補正予算	2024年度決算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1. 繰入金収入				
① 一般会計繰入金収入 一般会計繰入金収入	0	0	0	
② 特別会計繰入金収入 特別会計繰入金収入	0	0	0	
繰入金収入計	0	0	0	
2. 資産運用収入				
① 受取利息収入 受取利息収入	0	15	15	
② 雑収入 雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	0	15	15	
当期収入計(A)	0	15	15	
II 支出の部				
1. 繰入金支出				
① 一般会計繰入金支出	0	0	0	
② 特別会計繰入金支出	0	0	0	
2. 義援金支出				
義援金支出	0	31,100	31,100	能登半島地震支援
当期支出計(B)	0	31,100	31,100	
当期収支差額(A)-(B)	0	△ 31,085	△ 31,085	
前期繰越収支差額	240,358	240,358	0	
次期繰越収支差額	240,358	209,273	△ 31,085	

【第4部：設備・什器会計】

(単位：円)

科目	2024年度補正予算	2024年度決算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1. 繰入金収入				
① 一般会計繰入金収入 一般会計繰入金収入	535	0	△ 535	
② 特別会計繰入金収入 特別会計繰入金収入	0	0	0	
繰入金収入計	535	0	△ 535	
2. 資産運用収入				
① 受取利息収入 受取利息収入	0	4	4	
② 雑収入 雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	0	4	4	
当期収入計(A)	535	4	△ 531	
II 支出の部				
1. 繰入金支出				
① 一般会計繰入金支出	0	0	0	
② 特別会計繰入金支出	0	0	0	
当期支出計(B)	0	0	0	
当期収支差額(A)-(B)	535	4	△ 531	
前期繰越収支差額	58,846	58,846	0	
次期繰越収支差額	59,381	58,850	△ 531	

2024年度 一般社団法人牛久青年会議所 貸借対照表 (案)

作成者 財政局長 大西 敦
適用期間 2024年1月1日 から 2024年12月31日

貸借対照表			
項 目	科 目		
資産の部	流動資産	普通預金	6,434,170
		定期預金	0
		合計	6,434,170
	固定資産	電話加入権	2,000
合計		2,000	
資産の部合計			6,436,170
負債の部	前受会費		0
負債の部合計			0
正味財産	正味財産		6,434,170
	内基本金		2,000
	内登記正味財産		6,436,170

財産目録			
普通預金	常陽銀行	No.6343768 (本会計)	2,899,048
	常陽銀行	No.1488246 (40周年)	3,535,114
	常陽銀行	No.1494045 (災害義援金)	209,273
	常陽銀行	No.1545057 (設備什器)	58,850
	合計		6,702,285
電話加入権	電話番号	029-874-7004	2,000

監査報告 一般社団法人牛久青年会議所定款第48条により、2024年度事業報告、収支決算書、貸借対照表、各項目について監査した結果、適正なものと認めます。

2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所

令和7年1月7日

監事

石井 葵 (印)

監事

大澤 泰弘 (印)

議案提案書

議案名 2025年度 事業計画並びに収支予算（案）

- (1) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長所信
- (2) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所
副理事長基本方針並びに委員会事業計画
- (3) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 収支予算

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長所信

一般社団法人 牛久青年会議所
第40代 理事長 大西 敦

<はじめに>

「なぜ、こんなにやっているのかわからない」

みなさんは、そう思ったことはありませんか。世の中には、自分でもコントロールしきれないような理解不能な熱量で何かに没頭し続ける人々があります。他人からみたら、なぜ、そのような熱量で取り組むことができるのか、一見すると非合理的で負担もあって効率がいいとは限らない、そのようなことに取り憑かれたように情熱を注ぎ、結果を出す人々があります。

1949年、日本のJC運動は、第二次世界大戦後、国の再建を志す青年有志により、明るい豊かな社会の実現を理想として始まりました。先人たちは、自分でもコントロールしきれないような熱量で、明るい豊かな社会の実現に向かって邁進し、戦後の復興、高度経済成長を実現しました。全国各地には、共に向上し合い、社会に貢献するとの理念により、次々に青年会議所が誕生し、現在も「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、各青年会議所は、より良い社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。

私たちの住み暮らす牛久の地における青年会議所運動は1986年に産声を上げました。本年度、一般社団法人 牛久青年会議所は、40周年という節目の年を迎えます。先輩諸兄姉が39年間の長きにわたって紡いでこられた歴史は、今、牛久青年会議所の創成期に産声を上げたばかりの現在40歳に満たない青年たちが未来に繋いでいこうとしています。

私は、2017年に一般社団法人 牛久青年会議所に入会いたしました。当時は、地元の地域貢献活動に漠然とした興味はもっていたものの、特別な熱意を持っていたわけではなく、人脈づくりや仕事のためになればといった目的が大半でありました。入会時は、必要最小限の範囲内で、いわゆる「コスパ」がよいかたちで関わっていればそれでよいと考えていました。しかし、大変光栄なことにこれまで委員長などの様々な役職をさせていただいたほか、日本JC、茨城ブロック協議会に出向する機会もいただき、数多くの貴重な経験をさせていただきました。重要な役職を経験させていただく中で、肉体的・精神的に苦しいと感じる時期もありました。「なぜ、こんなに頑張っているのかわからない」そのように感じたことは一度や二度ではありません。

JC活動に関わるようになると、あるとき、自分ではコントロールのしきれない説明不能な熱量に駆り立てられるときがあります。それは、合理性や効率性を考えれば、一見遠回りをしているように見えてきてしまいます。最近のビジネス書には、よく自己実現やモチベーションといった謳い文句が並ぶことがありますが、JC運動には、そういった理屈だけでは説明がしきれないようなものに意図せず触発されてしまうことがあるのではないのでしょうか。

一方で、JC運動を展開するにあたっては、「想い」や「絆」といった気持ちの側面も非常に大事になります。運動をより力強く推進するためには、例えば、事業背景と事業目的の論理的整合性といった理屈の部分だけではなく、構築した事業に対する気持ちや感情といった「想い」を乗せていく必要があります。ただ、それは何も考えずに「想い」だけで突っ走ったということではありません。独りよがりな「想い」だけでは、運動を適切に進めることは難しくなってしまいます。

では、何が必要なのか。

40周年を迎えた今、私たちはこれからの一般社団法人 牛久青年会議所が進むべき道筋とその本質を見つめ直し、その先を見据えていく必要があるのではないのでしょうか。

<地域資源に新たな光を当てて夢を描くまちづくり>

牛久市は、1986年に茨城県で19番目の市としてスタートし、都心からの距離が約50kmという立地条件の良さから、首都圏のなかの新しいベッドタウンとして発展をしてきました。

牛久市には、牛久シャトー、牛久大仏、牛久沼といった多種多様な地域資源が存在しております。これまで一般社団法人 牛久青年会議所は、この地域資源を最大限に生かすため、数々の課題を考えつつ、試行錯誤しながら運動を展開してまいりました。また、新しいトピックとしては、二所ノ関部屋に所属する力士である大の里関が大関昇進を果たすといった明るいニュースもありました。40周年という節目を迎える本年度、私たちは、これらの牛久にゆかりがあるものの本質をとらえ、その特長に大胆かつ柔軟な発想で新たな光を当て、牛久に関わる全ての人々が、牛久に夢を描くことができるような40周年記念事業を展開しまちづくりに寄与してまいりましょう。

まずは、誰に向けてどのような運動を展開していくのか、どのような目的で運動を展開していくのか、理解していただくための発信を行うことが重要です。多くの方に、一般社団法人 牛久青年会議所の運動を理解していただくために工夫を凝らした広報・発信活動を行ってまいりましょう。

そのうえで、次世代が牛久に夢を描くためには、まず、その上の世代である私たちが夢を描き実現していく姿を示す必要があります。これまで、先輩諸兄姉が地域とともにやってきた運動を見つめ直し、令和の時代に生かしていくために適切な形でアップデートしていくことが必要です。これからの次世代が夢を描くためのベストな事業とストーリーを提供し、牛久に魅力を感じていただくことで、次世代を担う子どもたちが牛久に夢を描くことができるような礎を築いてまいりましょう。

牛久に住み暮らす方々が牛久に夢を描くためには、その方々が日々牛久に感じている多種多様な印象を吸い上げ、プラスの方向に転化し、その熱量を一つの方向に繋げ強い推進力として盛り上げていくことが大切です。これまで牛久で活躍されてきた方々の牛久への隠れた想いを内側から自然に湧き上がるように刺激することで、後世に伝えたいと思えるような牛久の良さを再認識していただき、牛久に改めて夢を描く衝動を巻き起こしてまいりましょう。

<あらゆる形での連携を駆使した理念共感型の浸透と仲間づくり>

組織の発展のためには、構成員としての「人」、連携するパートナーとしての「人」の拡大と良好な関係性の構築が必要不可欠です。40周年という節目を迎えるにあたり、私たちは、改めて組織にとっての「人」とそのあり方について、根本的なところから見つめ直し、行動することで、未来に繋ぐ衝動に火をつけることができると考えます。

全国的に青年会議所の会員数は減少を続け、一般社団法人 牛久青年会議所の会員数についても、減少傾向にあります。青年会議所のみならず、全国的に生産年齢人口は減少傾向にあります。今の現役世代の社会貢献に向けた衝動は、過去と比較して劣っているわけでは決してありません。社会貢献に向けた意欲はあっても、それを発揮する場所がわからない、できるかどうかかわからずに二の足を踏んでいる、そのような秘めた意欲と向上心を持っている青年経済人は、多くいるように見受けられます。青年会議所は、社会貢献に向けた秘めた衝動に火をつけて、それを達成するための実践を重ねるのに最適な組織です。40周年という節目を迎える今年度、理念に共感できる魅力的な事業構築の機会と唯一無二の経験値を共に獲得できる新たな仲間づくりを推し進めてまいりましょう。

一般社団法人 牛久青年会議所は、これまで多くの行政組織や他団体とパートナーシップを構築してまいりました。一方で、現代社会における災害の甚大化、少子高齢化の進行、コミュニティの希薄化による社会不安の増大により、地域の一団体として行政組織や他団体との連携をスムーズに行う必要性はこれからも高まっていきます。社会問題を解決するために日々運動を展開している私たちは、複雑化・深刻化する社会問題に対応し、更なる発展を遂げることを可能にするパートナーシップの構築を目指す必要があります。連携を取る理由と必要性をパートナーシップの相手方に論理的かつわかりやすく説明するとともに、思わず協力したくなるような感性を刺激し合うことで、共にその先へと進む衝動を巻き起こしてまいりましょう。

<創立40周年という節目と次なるステージを明確に意識した組織運営>

組織の運営は、理事会の設営、会員名簿の作成、各スケジュールの調整管理、備品の管理、ホームページの更新等、当たり前のことを当たり前にこなしていくことによって、円滑な組織運営が可能となります。一見すると光の当たりにくい場所ですが、組織運営が十分に機能しなければ、その団体の運動を円滑に展開していくことが覚束なくなってしまうます。

年2回開催される総会は、私たちの年間事業計画や予算などを決める一般社団法人 牛久青年会議所内の最高決定機関であるとともに、多くのご来賓の方や近隣友好LOM、先輩諸兄姉の皆様、一般社団法人のあり方を見ていただく重要な機会でもあります。

入念な準備を重ねることによって、一般社団法人 牛久青年会議所らしい、緊張感のある雰囲気の中、厳粛に開催できるよう努めてまいりましょう。

また、本年度は、40周年という節目の年を迎えるにあたって、40周年記念式典が催されます。節目を明確に意識することで、過去を見つめなおし、未来を見通すことが可能になります。普段通り

のことをこなすことに加えて、40周年記念式典という節目の前と後を明確に意識したセレモニーと式典を行うことで参加者の衝動を呼び起こし、組織運営に今までにない光を当てることで、次なるステージを見定め、しっかりと歩みを進める道しるべとしてまいりましょう。

また、迅速かつ適切な広報活動を実践することで、一般社団法人 牛久青年会議所の周知に繋がるとともに一般社団法人 牛久青年会議所のブランディングにもつながります。受け手のワクワク感と衝動を呼び起こすような魅力的な広報活動を目指してまいりましょう。

<アカデミーメンバーによる社会貢献への衝動>

一般社団法人 牛久青年会議所では、年々入会3年未満のアカデミーメンバーの割合が増えております。近年の一般社団法人 牛久青年会議所を支えているのはやる気に満ち溢れたアカデミーメンバーであり、一般社団法人 牛久青年会議所では、運動に積極的にコミットすることで、入会后まもなく、他団体では得られない活躍の機会を得るということも不可能ではありません。

牛久市内において毎年開催されるうしくかつば祭りでは、アカデミーメンバーが中心となってクリーンキーパー活動を行っています。コロナ禍から地域との連携が少しずつ繋がりはじめた今、アカデミーメンバーが主体となって新鮮な発想で今後に関わる事業を行うことで、社会貢献へ衝動を呼び起こしてまいりましょう。

<ラストイヤーの矜持と教示が描き出す運動を次代につなぐ衝動>

一般社団法人 牛久青年会議所には、これまで多大な貢献をされてきた魅力あふれるラストイヤーのメンバーが今年も多く存在します。40周年の節目の年に卒業をされるメンバーの方々がこれまでに一般社団法人 牛久青年会議所の発展のために費やしてきた努力と熱量は計り知れないものがあります。これまで培ってこられたJAYCEEとしての矜持を、次の世代のメンバーに教示し、継承するとともに運動を展開するにあたって大切なことは何なのかをメンバー全員と共有することで、40周年のその先へと繋がる留まらない衝動を引き継いでまいりましょう。

<50周年に向けたビジョンの構築と節目の門出を祝う40年目の卒業式>

事務局は、出欠の調整、議事録の作成、スケジュールの管理、各種大会の対外事業への参加時の設営といったあまり目立たない作業ではありますが、組織の中核として欠かせない存在です。日頃から、しっかりとした準備を行うことで、メンバーの衝動をエンパワーメントして自信を持たせるとともに円滑かつ正確な組織運営に努めてまいりましょう。

財政局は、予算の策定、会計の管理、コンプライアンスチェックといった一般社団法人 牛久青年会議所が活動をしていくうえで必要不可欠な部局です。特に本年度は、正確な収支の管理が重要になってきますので、事務局同様入念な準備とともにメンバーへの周知を行って、衝動を繋いでまいりましょう。

また、40周年を迎えるにあたって、次の10年後である50周年のビジョンを提案する必要があります。これまで先輩諸兄姉が積み上げられてきた運動展開に対して敬意と感謝の気持ちを持つとともに、創立の精神を受け継ぎつつも、メンバー全員が主体的な意見交換を行い、今後迎える50周年に向けた夢を描ける未来ビジョンを構築してまいりましょう。

40周年の一般社団法人 牛久青年会議所とともに、その中核を担ってきた多くのメンバーがご卒業されます。50周年に向けた一般社団法人 牛久青年会議所の次なる衝動に期待を持っていただけるような設えで、卒業生に最大級の感謝を伝え、晴れやかな気持ちで卒業していただきながら40周年のフィナーレを迎えましょう。

<結びに>

40周年という記念すべき年を迎えるにあたり、私たちが、自分ではコントロールしきれない何かに突き動かされるような熱量に駆り立てられるためには、「知恵」を振り絞って考え、「議論」することとともに、「想い」や「絆」といった気持ちを乗せていくことが必要不可欠です。しかし、説明不能なほど過剰なパッションは、文字どおり「理屈」と「感情」だけで説明することは不可能です。40周年という節目の年を迎えるに当たって、私たちは、「理屈」と「感情」をただ両手に携えるだけではなく、「理屈」と「感情」の先へ向かって歩みを進める必要があります。

40周年という節目を明確に意識し、次の時代へと繋げていくためには、メンバー一人ひとりが内面から湧き上がる「衝動」を掘り下げ、そして、「衝動」に突き動かされる必要があります。辛いときや苦しいときもあるかもしれませんが、「自分でも何故こんなに頑張っているのかわからない」という境地に達したとき、辛さや苦しさは、説明が不能なものではなく、説明が必要のない「衝動」となり、一般社団法人 牛久青年会議所でしか味わえない達成感と充実感に繋がっていくはずで、2025年度の1年間が終わったとき、「衝動」に突き動かされて駆け抜けてよかったと振り替えられるような1年間をともに目指してまいりましょう。そのとき得たかけがえのない経験は、これまでにない成長の機会となり、自身の仕事や日常生活、さらには牛久の未来にもプラスに働くものと信じています。そして、先輩諸兄姉の皆様が繋いでこられた一般社団法人 牛久青年会議所の誇りを継承し、新たな時代に向けて、一致団結し、言葉では語り尽くせないほどの大きな「衝動」を巻き起こしてまいりましょう。

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 スローガン

衝動

—感情と思考の先へ—

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 職務分掌

◎総会

- ・定款により1月、9月に定時総会を開催する。その他、定款により理事長が必要と認めた場合、臨時総会を開催する。

◎理事会

- ・原則毎月第3火曜日に開催する。その他、定款により理事長が必要と認めた場合、臨時理事会を開催する。
- ・原則議案2回の協議を経て、事業開催1カ月前までの理事会において審議を受けなければならない。
- ・原則ペーパーレス会議にて進行する。会議資料は正副理事長、専務理事が事前確認のうえ、開催1日前までに事務局長へ提出し、取り纏め、理事会構成メンバーへ事前配信する。
- ・事前配信を確認のうえ、意見を会議時に表明するか又は会議前までにスプレッドシートに記入し、次回財政審査会議開催時まで、意見に対する対応を議案書に反映する。意見に対する急を要する対応（審議案件の場合など）については会議開催までに対応し、差し替えを行い、事務局より周知する。
- ・開催後、事務局長は速やかに議事録を作成し、理事会構成メンバーへ配信する。
- ・出席義務者は理事、直前理事長、監事とする。
- ・議案の上程は、理事が行うものとする。但し、理事以外の者が詳細説明を行うことが相当と理事長が認めた場合には、理事長の指名により理事以外の者が詳細説明を行うことができるものとする。

◎正副理事長会議

- ・原則毎月第2火曜日に開催する。
- ・その他、理事長が必要と認めた場合、臨時正副理事長会議を開催する。
- ・原則ペーパーレス会議にて進行する。会議資料は正副理事長、専務理事が事前確認の上、開催1日前までに事務局長へ提出し、取り纏め、正副理事長会議構成メンバーへ事前配信する。
- ・事前配信を確認のうえ、意見を会議時に表明するか又は会議前までにスプレッドシートに記入し、次回理事会開催時まで、意見に対する対応を議案書に反映する。意見に対する急を要する対応（審議案件の場合など）については会議開催までに対応し、差し替えを行い、事務局より周知する。
- ・開催後、事務局長は速やかに議事録を作成し、正副理事長会議構成メンバーへ配信する。
- ・出席義務者は直前理事長、正副理事長、専務理事、事務局長、財政局長とする。監事は理事長が必要と判断した時に出席要請する。
- ・議案の上程は、正副理事長会議出席義務者が行うものとする。但し、それ以外の者が詳細説明を行うことが相当と理事長が認めた場合には、指名により正副理事長会議出席義務者以外の者が詳細説

明を行うことができるものとする。

◎財政審査会議

- ・原則毎月第1火曜日に開催する。
- ・その他、専務理事が必要と認めた場合、臨時財政審査会議を開催する。
- ・財政局長の運営により予算の確認、上程書の内容精査を実施する。
- ・出席義務者は、専務理事、事務局長、財政局長、委員長、副委員長、及び上程に関わる者とする。
- ・全体の議事録は残さない。上程のある委員会は、原則副委員長が各自議事録をとる。
- ・原則ペーパーレス会議にて進行する。会議資料は正副理事長、議長、専務理事が事前確認の上、開催1日前までに財政局長へ提出し、財政局長が取り纏めを行う。
- ・事前配信を確認のうえ、意見を会議時に表明するか又は会議前までにスプレッドシートに記入し、次回正副理事長会議開催時まで、意見に対する対応を議案書に反映する。意見に対する急を要する対応（審議案件の場合など）については会議開催までに対応し、差し替えを行い、財政局より周知する。

◎委員会

- ・原則月1回以上開催する。
- ・開催日はHPスケジュールへ事前公開する。
- ・開催毎に議事録を作成し、委員会構成メンバーへ配信する。
- ・担当例会の翌月にJCルームの清掃をし、専務理事へ報告する。

◎例会

- ・原則毎月第4木曜日に開催する。
- ・その他、委員会がメンバーへのヒアリングにより、日程を変更し開催する。
- ・主管委員会または担当理事は、例会終了後の翌月又は翌々月までに事業報告書並びに決算報告書を作成し、財政審査会議、正副理事長会議の承認後、理事会にて決算報告をする。

◎審議を要する事項

●原則2回の協議と1回の審議を要する事項

- ・予算を伴う例会事業を行う場合。
- ・例会事業費以外で10万円以上の予算を使用する場合。
- ・その他理事長が必要と認めた場合。

●原則1回の協議と1回の審議を要する事項

- ・例会事業費以外で1万円以上10万円未満の予算を使用する場合。

- ・委員会や委員会の事業を対外に公開する場合。
- ・他団体と共同で事業を開催する場合（共催等）。
- ・会則に定められた事項。
- ・その他理事長が必要と認めた場合。

●原則1回の審議を要する事項

- ・青年会議所名やJ C Iマークを対外使用する場合。
- ・他団体の行う事業へ協賛、協力、後援する場合。
- ・その他理事長が必要と認めた場合。

◎審議を要さない事項

以下の場合には、事業計画書形式にて事業開催前の理事会までに報告議案又はレクリエーション議案として上程する。

- ・対内での公開委員会を開催する場合
- ・レクリエーションを開催する場合で、予算が伴わない場合

◎その他

- ・J C手帳は希望者のみの購入とする。
- ・会員名刺は個人負担により作成するものとする。
- ・会員への各案内は可能な限りL I N Eにて配信する。

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所
副理事長基本方針並びに委員会事業計画

副理事長基本方針

40周年拡大連携委員会
担当副理事長 伊藤 裕一

- ・人が成長し、可能性を広める、理念共感型の新たな仲間づくり
- ・パートナーシップの重要性の共有と連携強化

委員会事業計画

40周年拡大連携委員会
委員長 藤枝 一翔

第40代 大西 敦 理事長の下、40周年拡大連携委員会委員長という大役を仰せつかり、誠に光栄に感じると共に、責務の重大さに身の引き締まる思いです。

一般社団法人 牛久青年会議所の会員数は減少傾向にあります。新たな仲間作りが求められており、多くの人が集い、力を合わせることによって効果的な運動展開ができます。さらに、人と人が協力することで大きな力が生み出せます。

社会貢献に向けた意欲はありながらも、それを発揮する場が分からない人は数多くいます。青年会議所はそのような人に最適な、秘めた意欲を發揮し、人が成長できる組織です。3月例会では、青年会議所が可能性を広められる場であるということをメンバーやオブザーバーが認識し、秘めたる衝動に火をつけることで、理念共感型の新たな仲間作りにつなげてまいります。

また、能登半島地震等の大きな被害をもたらす地震、地球温暖化による水害などの災害、少子高齢化、コミュニティの希薄化といった社会不安が増大しています。行政組織や他団体とパートナーシップを深めることで、共助の精神が高まり、助け合いの促進や災害被害軽減につながります。11月例会では、諸団体にパートナーシップの重要性を伝え、連携強化と信頼関係強化につなげてまいります。

結びに、本年度40周年拡大連携委員会はメンバー一丸となり新たな仲間作りに邁進していく所存でございます。皆様のご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

副理事長基本方針

40周年実行委員会

担当副理事長 久原 康太

- ・ターゲットや目的を明確化し一般社団法人 牛久青年会議所の運動を理解してもらう広報発信
- ・時代に合わせてアップデートした、子どもたちが挑戦し夢を描ける機会の提供
- ・牛久市の全世代が興奮を覚え、後世に伝えたいという衝動を巻き起こす記念事業の開催

委員会事業計画

40周年実行委員会

委員長 佐藤 晃輔

第40代 大西 敦 理事長の下、40周年実行委員会委員長という大役を仰せつかり、誠に光栄に感じると同時に、その責務の重さに身が引き締まる思いです。

一般社団法人 牛久青年会議所は、これまで先輩諸兄姉が築いてこられた想いや志を引継ぎ、40周年という節目を迎えることが出来ました。

私たちは、牛久にゆかりある地域資源や特性を再認識し、新たな視点を加えることによって、地域のさらなる発展を目指してまいります。

40周年実行委員会は、2月、5月、8月の例会を主管させていただきます。

2月には一般社団法人 牛久青年会議所の運動を理解していただくために、工夫を凝らし時代に沿った広報を学ぶ事業を実施することでその学びを40周年の運動展開に関しての広報発信活動に繋げます。

5月には次世代を担う子どもたちに熱意を持って挑戦し競い合う機会を提供するため、令和の時代に合った形にアップデートしていき、自らの可能性を最大限に引き出していただき、その経験を基に新たな夢と可能性を描くことができる事業を構築します。

8月には、牛久市の未来のために、市民や次世代を担う子どもたちが牛久市の良さを再確認し夢を描くことができる40周年記念事業を実施し、衝動を巻き起こすとともに、後世に語り継がれるような夢と笑顔を届ける、40周年記念事業を構築します。

結びに、委員会メンバー主導の下、40周年という節目の重要性を理解し、全メンバー力を合わせて、40周年を成功に導けるよう力を合わせて取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

専務理事基本方針

40周年運営委員会

担当専務理事 黒崎 雄太

- ・組織の根幹としてメンバーに寄り添った、円滑な組織運営
- ・参加者の衝動を呼び起こす、節目を意識した厳粛な式典設営
- ・受け手のワクワク感と衝動を呼び起こす、迅速かつ適切な広報活動

委員会事業計画

40周年運営委員会

委員長 西原 里枝

第40代 大西 敦 理事長の下、40周年運営委員会委員長という大役を仰せつかり、誠に光栄に感じると共に責務の重大さに身の引き締まる思いです。

本年度の40周年運営委員会では、1月と9月の定時総会と6月の記念式典を主管させていただきます。

1月の定時総会では、厳粛な雰囲気の中、一般社団法人 牛久青年会議所の1年間の方向性を知っていただく上で、最も重要な決議を行う場であるということを念頭に置き、メンバーの皆様にはその重要性を認識していただきます。また、9月の定時総会では、中間報告と補正予算を公開することで運動内容と会計内容を知っていただきます。

6月の記念式典では、これまで先輩諸兄姉が積みあげられてきた運動展開に対して敬意と感謝の気持ちを持つとともに、一般社団法人 牛久青年会議所の長い歴史と誇るべき伝統を参加していただいた皆様に伝えていきます。そして、創立40周年という節目を明確に意識し、50周年という新たなステージへ歩みを進められる記念式典を開催いたします。

また、40周年運営委員会では、理事会の設営、会員名簿の作成、各種スケジュール管理、備品の管理、SNSの更新等、事前準備を心掛け、各委員会と連携を図り、受け手のワクワク感や衝動を呼び起こせる魅力的な広報活動ができるように努めてまいります。

結びに、組織の運営に関わる立場としてその重要性をしっかりと理解し委員会メンバー一同、1年間邁進していく所存でございますので、皆様のご支援、ご協力の程よろしく願いいたします。

専務理事基本方針

事務局・財政局

担当専務理事 黒崎 雄太

- ・組織の中核として円滑かつ正確な組織運営及び財政の管理
- ・歴史と伝統を継承し、創立の精神を受け継ぎ未来に向けた夢を描けるビジョンの構築
- ・卒業生に感謝の気持ちを伝え、功績をたたえる卒業式の開催

委員会事業計画

事務局長 遠藤 真広

財政局長 佐藤 昌平

第40代 大西 敦 理事長の下、事務局長・財政局長という大役を仰せつかり、誠に光栄に感じるとともに責務の重大さに身の引き締まる思いです。

本年度の事務局・財政局は、組織の中核としての責任を果たし、組織全体の円滑な運営を支えると同時に、正確かつ透明性の高い財政管理を徹底します。正副理事長会議並びに財政審査会議の設営、議事録作成、スケジュール管理、各種連絡、コンプライアンスチェック、予算策定と管理および使途の明確化を行い、組織全体の安定した基盤を築くことに努めます。

4月例会では、これまで先輩諸兄姉が積み上げられてきた一般社団法人 牛久青年会議所の長い歴史と誇るべき伝統をしっかりと継承するとともに、未来に向けた新たなビジョンを構築してまいります。時代の変化に対応した組織のあり方を模索し、メンバーが共有する価値観や目標を明確にします。40周年という節目に感じる「衝動」を大切に、歴史や伝統の重要性を理解してもらい、今後迎える50周年に向けた夢を描ける未来への挑戦を促す例会を開催いたします。

12月例会では、これまで一般社団法人 牛久青年会議所を支えてこられた卒業生の方々に感謝の気持ちを伝え、その功績を讃えるとともに、卒業生と現役メンバーが想いを共有し、強固な絆を結ぶ場を設けます。そして卒業生への感謝の意を込めた40周年のフィナーレに相応しい盛大な卒業式を開催いたします。

結びに、事務局・財政局が組織運営と財政管理の中核として、全メンバーと力を合わせて円滑な運営を実現し、一般社団法人 牛久青年会議所の更なる発展に貢献してまいりますので、皆様のご支援、ご協力の程よろしく願いいたします。

副理事長基本方針

アカデミーメンバー
担当副理事長 久原 康太

- ・アカデミーメンバー主導による、新鮮な発想で地域との連携を深め今後につなげる社会貢献

委員会事業計画

アカデミーメンバー
総括責任者 藤枝 一翔

第40代 大西 敦 理事長の下、アカデミーメンバーの総括責任者という大役を仰せつかり、誠に光栄に感じると共に、責任の重大さに身の引き締まる思いです。

一般社団法人 牛久青年会議所では、アカデミーメンバーの割合が増加しており、メンバーの約4人に1人がアカデミーメンバーとして活動しています。私たちアカデミーメンバーは、先輩諸兄弟が築き上げてきた歴史と伝統をしっかりと継承し、一般社団法人 牛久青年会議所の未来を担う立場としての自覚を持ち、地域と連携して今後につながる社会貢献活動を推進してまいります。

7月例会においては、アカデミーメンバーの意見を取り入れ、牛久市および市民のみなさまに向けた社会貢献につながる事業を行い、アカデミーメンバーがJC活動を行っていくための基盤となるような事業構築を行い、今後もJCとして地域に貢献していくための礎を作ります。

結びに、アカデミーメンバーを総括する立場としてその責任を重く受け止め、メンバー一同邁進してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

専務理事基本方針

担当専務理事 黒崎 雄太

・卒業生がこれまでの青年会議所運動で得た矜持を次世代メンバーに教示し、未来へ繋がる運動の発信

卒業生メンバー事業計画

卒業生メンバー
総括責任者 大吉 正幸

第40代 大西 敦 理事長の下、卒業生メンバーの総括という大役を仰せつかり、誠に光栄に感じると共に、責務の重大さに身の引き締まる思いです。

本年度卒業生メンバーといたしましては、青年会議所の運動は自己の成長と仲間との絆を深めることができる場であるということを実役メンバーに重ねて伝えていきたいと考えております。何のために誰のために活動するのか、運動するにあたって大切なことは何なのかを一人ひとりが自ら考え行動し、メンバー全員と行動できる組織力が重要だと考えます。

10月例会では、お互いを尊重し、認め合い、自然と助け合い一人では実現不可能なミッションも仲間とともに切磋琢磨することで、達成の喜び、成功体験を学べる活動場所イコール一般社団法人 牛久青年会議所であることをメンバーに再認識していただく場を提供させていただきます。

そのために、これまでの青年会議所運動で得た知識や経験をいかし、卒業生として、地域や誰かのために運動展開してきたことによる自己成長の素晴らしさや、様々な課題解決に向けて率先して行動する地域のリーダーとしての矜持を次世代のメンバーに教示いたします。また、活動の拠点である地域の皆様を巻き込み、一般社団法人 牛久青年会議所の更なる発展、そして、地域の明るい未来に繋がる事業を、恩返しの気持ちを持って展開してまいります。

結びに、卒業生メンバーで協力して取り組んでまいりますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いたします。

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 収支予算

2024年度 一般社団法人牛久青年会議所 総会計正味財産増減計算書(案)

作成者 財政局長 佐藤 昌平
 適用期間 2025年1月1日から2025年12月31日
 (単位:円)

科目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取会費	2,505,000
正会員会費	2,225,000
入会金	200,000
年会費	2,025,000
特別会員入会金	280,000
特別会員年会費	0
② 雑収入	869,000
受取利息	0
その他雑収入	0
シニアクラブ支援金	200,000
茨城ブロック協議会周年祝い金	669,000
③ 他会計からの繰入金	3,534,806
特別会計(40周年記念事業準備資金からの繰入金)	3,534,806
特別会計(災害義援金からの繰入金)	0
経常収益計	6,908,806
(2) 経常費用	
① 事業費	6,300,000
40周年拡大連携委員会(2025)	200,000
40周年実行委員会(2025)	3,300,000
40周年運営委員会(2025)	2,300,000
卒業生(2025)	300,000
事務局・財政局(2025)	100,000
アカデミーメンバー(2025)	100,000
② 管理費	1,052,297
通信運搬費	
電話代	80,000
運搬代	18,000
消耗品費	186,260
コピー用紙・インク代	3,500
図書・研修費	0
印刷製本費	204,000
業務委託費	36,675
渉外費	83,736
雑費	758
支払手数料	5,000
水道光熱費	45,000
地代家賃費	389,368
③ 負担金	696,641
日本JC負担金(基本額)	30,000
日本JC負担金(付加金)	140,000
JCI負担金	69,316
国際協力資金	56,575
機関誌購読料(We Believe)	76,750
地区協議会負担金	35,000
ブロック協議会負担金	95,000
ブロック協議会ブロック大会負担金	63,000
ブロック協議会会議負担金	40,000
日本JC負担金(出向分)	0
国際アカデミー負担金	0
ブロック周年祝い負担金	63,000
LOM周年祝い負担金	0
京都会議負担金	8,000
常磐線東京駅乗り入れ推進協議会負担金	10,000
公開討論会実行委員会協賛金	0
牛久市国際交流協会負担金	10,000
④ 他会計への繰入金支出	0
40周年記念事業資金への繰入金支出	0
設備・什器資金への繰入金支出	0
ブロック大会準備金への繰入金支出	0
経常費用計	8,048,938
当期経常増減額	△ 1,140,132
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,140,132
一般正味財産期首残高	2,890,815
一般正味財産期末残高	1,750,683
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	△ 3,534,806
指定正味財産期首残高	3,534,806
指定正味財産期末残高	0
III 正味財産期末残高	1,750,683

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 予算(案)

作成者 財政局長 佐藤 昌平
 適用期間 2025年1月1日から2025年12月31日
 (単位:円)

【第1部:本会計】		2024年度予算	2025年度予算(案)	増減	摘要
I	事業活動収支の部				
1.	事業活動収入				
①	入会金収入				
	正会員入会金収入	100,000	200,000	100,000	入会予定者10名×20,000円
	特別会員入会金収入	40,000	280,000	240,000	特別会員予定者7名×40,000円
	入会金収入計	140,000	480,000	340,000	
②	会費収入				
	正会員年会費収入	2,096,000	2,025,000	△ 71,000	30名(正会員21名+入会予定者10名)
	特別会員年会費収入	0	0	0	
	会費収入計	2,096,000	2,025,000	△ 71,000	
③	事業収入				
	委員会事業会計収入				
	登録料収入	143,000	0	△ 143,000	
	広告料収入	0	0	0	
	販売収入	300,000	0	△ 300,000	
	雑収入	737,800	0	△ 737,800	
④	雑収入				
	受取利息収入	264	0	△ 264	
	その他雑収入	100,000	0	△ 100,000	
	シニアクラブ支援金	200,000	200,000	0	
	茨城ブロック協議会祝い金	0	669,000	669,000	茨城県内青年会議所周年祝い金 1,000円×669名
⑤	他会計からの繰入金収入				
	特別会計からの繰入金収入	0	3,534,806	3,534,806	
	事業活動収入計	3,717,064	6,908,806	3,191,742	
2.	事業活動支出				
①	事業費支出				
	事業費支出				
	未来拡大会議(2024)	153,152	0	△ 153,152	
	次世代育成委員会(2024)	298,609	0	△ 298,609	
	総務広報委員会(2024)	62,463	0	△ 62,463	
	40周年準備委員会(2024)	1,148,226	0	△ 1,148,226	
	卒業生(2024)	75,011	0	△ 75,011	
	事務局・財政局(2024)	39,975	0	△ 39,975	
	アカデミーメンバー(2024)	20,155	0	△ 20,155	
	40周年拡大連携委員会(2025)	0	200,000	200,000	3月例会、11月例会
	40周年実行委員会(2025)	0	3,300,000	3,300,000	2月例会、5月例会、8月例会
	40周年運営委員会(2025)	0	2,300,000	2,300,000	1月例会、6月例会、9月例会
	卒業生(2025)	0	300,000	300,000	10月例会
	事務局・財政局(2025)	0	100,000	100,000	4月例会、12月例会
	アカデミーメンバー(2025)	0	100,000	100,000	7月例会
	事業予備費支出				
	事業費支出計	1,797,591	6,300,000	4,502,409	
②	管理費支出				
	通信運搬費支出				
	電話代支出	87,154	80,000	△ 7,154	NTT(2024.12~2025.11)電報代省く、プロバイダ(OCN)
	運搬代支出	4,720	18,000	13,280	切手代他
	消耗品支出	161,870	186,260	24,390	新入会員バッチ・プレート代(10名)、卒業生横断幕、卒業生記念品(7名)、ミニゴング
	コピー用紙・インク代支出	0	3,500	3,500	
	印刷製本費支出	198,000	204,000	6,000	特別会員用の手帳代 154名(特別会員数148名+24年度卒業生6名)×1,000円、手帳デザイン費50,000円
	業務委託支出	36,742	36,675	△ 67	ドメイン料金7,500円(2025.1~12)、役員変更登記料金29,175円
	渉外費・支援金等準備資金	46,510	83,736	37,226	慶弔費40,000円、電報代23,736円(総会・周年)、支援金等準備資金、京都会議並びに全国大会祝儀(土浦:5,000円、竜ヶ崎:5,000円、つくば:5,000円、下館:5,000円)×1
	雑支出	11,657	758	△ 10,899	変更登記時源泉徴収復興特別所得税
	支払手数料支出	9,470	5,000	△ 4,470	
	水道光熱費支出	25,714	45,000	19,286	
	地代家賃支出	388,092	389,368	1,276	1ヵ月31,472円×12ヵ月、イス、テーブル代11,704円
	管理費支出計	969,929	1,052,297	82,368	
③	負担金支出				
	日本JC会費(基本額)	30,000	30,000	0	年当初の正会員数が正会員1名から50名までは30,000円、51名からは25名増すごとに15,000円加算
	日本JC会費(付加金)	135,000	15,000	△ 120,000	24名×5,000円+6名×2,500円
	JCI会費	62,608	69,316	6,708	30名×2,236円
	国際協力資金	51,100	56,575	5,475	30名×1,825円
	機関誌購読料(We Believe)	74,000	76,750	2,750	30名分
	地区協議会会費	36,000	35,000	△ 1,000	20名×1,000円+10,000円(基本金)+4名×1,000円
	ブロック協議会会費	98,000	95,000	△ 3,000	20名×3,000円+20,000円(基本金)+4名×3,000円
	ブロック協議会負担金	72,000	63,000	△ 9,000	20名×3,000円
	ブロック協議会会議費	20,000	40,000	20,000	
	ブロック大会登録料	0	0	0	
	日本JC負担金	0	0	0	
	サマーコンファレンス負担金	0	0	0	
	ブロック周年祝い金	24,000	63,000	39,000	21名×(3LOM×1,000円)茨城南、笠間、牛久
	LOM周年祝い金	0	0	0	
	京都会議登録料	8,000	8,000	0	
	常磐線東京駅乗り入れ推進協議会 会費	10,000	10,000	0	
	公開討論会実行委員会協賛金	0	0	0	
	牛久市国際交流協会会費	10,000	10,000	0	
	負担金支出計	630,708	571,641	△ 59,067	
④	他会計への繰入金支出				
	40周年記念事業資金への繰入金支出	300,000	0	△ 300,000	【第2部:40周年記念事業準備資金会計】
	災害義援金への繰り入れ支出	0	0	0	【第3部:災害義援金支払会計】
	設備・什器資金への繰入金支出	0	0	0	【第4部:設備・什器会計】
	他会計への繰入金支出計	300,000	0	△ 300,000	
	事業活動支出計	3,698,228	7,923,938	4,225,710	
	事業活動収支差額	18,836	△ 1,015,132	△ 1,033,968	
II	投資活動収支の部				
1.	投資活動収入				
	投資活動収入計				
2.	投資活動支出				
	特定資産取得支出				
	周年事業積立資産取得支出				
	投資活動支出計				
	投資活動収支差額				
III	予備費支出				
	当期支出計	3,698,228	7,923,938	4,225,710	
	当期収支差額	18,836	△ 1,015,132	△ 1,033,968	
	前期繰越収支差額	2,871,979	2,890,815	18,836	
	次期繰越収支差額	2,890,815	1,875,683	△ 1,015,132	

【第2部：40周年記念事業準備資金会計】

(単位：円)

科目	2024年度予算	2025年度予算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1. 繰入金収入				
① 一般会計繰入収入				
一般会計繰入収入	300,000	0	△ 300,000	LOM周年積立金
② 特別会計繰入収入				
特別会計繰入収入	0	0	0	
繰入金収入計	300,000	0	△ 300,000	
2. 資産運用収入				
① 受取利息収入				
受取利息収入	0	0	0	
② 雑収入				
雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	0	0	0	
当期収入計 (A)	300,000	0	△ 300,000	
II 支出の部				
1. 繰入金支出				
① 一般会計繰入支出				
② 特別会計繰入支出				
40周年記念事業資金への繰入金支出	0	3,534,806	3,534,806	
2. 特別支出				
特別支出	170,324	0	△ 170,324	
繰入金支出計	170,324	0	△ 170,324	
当期支出計 (B)	170,324	3,534,806	3,364,482	
当期収支差額 (A) - (B)	129,676	△ 3,534,806	△ 3,664,482	
前期繰越収支差額	3,405,130	3,534,806	129,676	
次期繰越収支差額	3,534,806	0	△ 3,534,806	

【第3部：災害義援金支払会計】

(単位：円)

科目	2024年度予算	2025年度予算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1. 繰入金収入				
① 一般会計繰入収入				
一般会計繰入収入	0	0	0	
② 特別会計繰入収入				
特別会計繰入収入	0	0	0	
繰入金収入計	0	0	0	
2. 資産運用収入				
① 受取利息収入				
受取利息収入	1	0	△ 1	
② 雑収入				
雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	1	0	△ 1	
当期収入計 (A)	1	0	△ 1	
II 支出の部				
1. 繰入金支出				
① 一般会計繰入支出				
② 特別会計繰入支出				
2. 義援金支出				
義援金支出	31,100	0	△ 31,100	
当期支出計 (B)	31,100	0	△ 31,100	
当期収支差額 (A) - (B)	△ 31,099	0	31,099	
前期繰越収支差額	240,358	209,259	△ 31,099	
次期繰越収支差額	209,259	209,259	0	

【第4部：設備・什器会計】

(単位：円)

科目	2024年度予算	2025年度予算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1. 繰入金収入				
① 一般会計繰入収入				
一般会計繰入収入	0	0	0	
② 特別会計繰入収入				
特別会計繰入収入	0	0	0	
繰入金収入計	0	0	0	
2. 資産運用収入				
① 受取利息収入				
受取利息収入	0	0	0	
② 雑収入				
雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	0	0	0	
当期収入計 (A)	0	0	0	
II 支出の部				
1. 繰入金支出				
① 一般会計繰入支出				
② 特別会計繰入支出				
当期支出計 (B)	0	0	0	
当期収支差額 (A) - (B)	0	0	0	
前期繰越収支差額	58,846	58,846	0	
次期繰越収支差額	58,846	58,846	0	

議案提案書

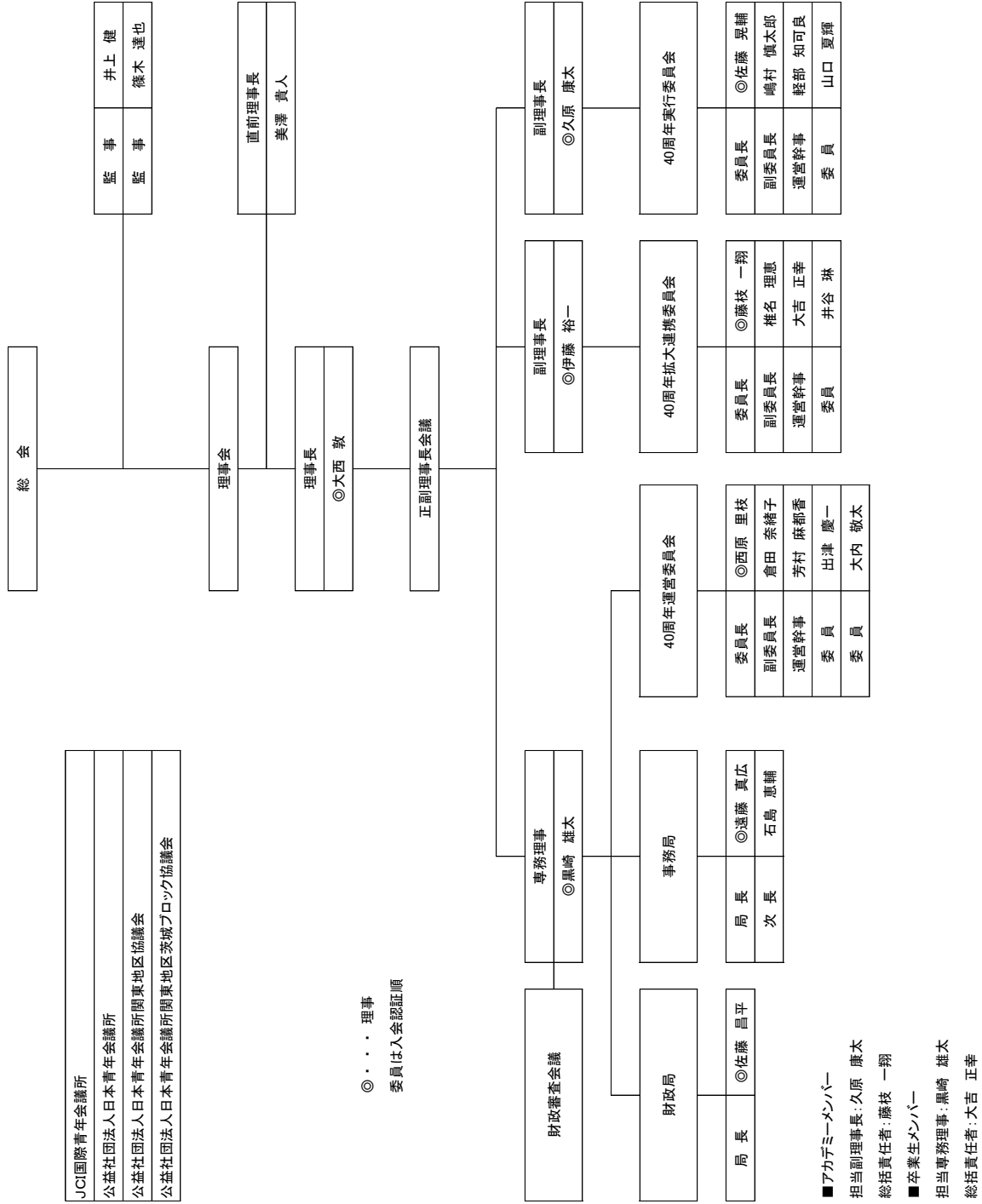
議案名 その他

報告事項

- (1) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 組織図
- (2) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 月例会主管スケジュール
- (3) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 出向者報告
- (4) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 卒業生の言葉

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 組織図

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 組織図(案)



2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 月例会主管スケジュール

担当月	例会	レクリエーション	対外事業（JC関係）	対外事業（その他）
1月	40周年運営委員会		京都会議（京都）	市長表敬訪問 牛久市賀詞交歓会
2月	40周年実行委員会		合同閉講式（水戸） エリアD会議（牛久開催） シニアクラブ総会	
3月	40周年拡大連携委員会		じゃがいもゴルフコンペ	
4月	事務局・財政局	40周年拡大連携委員会 （シニアクラブ交流レクリエーション）		
5月	40周年実行委員会			
6月	40周年運営委員会 （40周年記念式典）		ASPAC（モンゴル）	
7月	アカデミーメンバー		サマーコンファレンス（横浜） 会員会議所会議（牛久開催） 関東地区大会（桐生）	うしくかっぱ祭り
8月	40周年実行委員会 （40周年記念事業）		エリアD会議（牛久開催）	
9月	40周年運営委員会	スタッフ構成メンバー （他団体交流レクリエーション）	茨城ブロック大会下妻大会 役員会議（牛久開催）	
10月	卒業生メンバー		全国大会（佐賀） じゃがいもゴルフコンペ	
11月	40周年拡大連携委員会		合同閉講式（水戸） 世界会議（チュニジア） ありがとう関東地区	
12月	事務局・財政局			

（その他）

※後援、協力、共催依頼に対し、審議可決した団体への運営支援

※災害発生時、必要に応じた支援金及び人的支援の実施

2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 出向者報告

公益社団法人 日本青年会議所

出向報告

規則審査会議

委員 篠木 達也

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 規則審査会議に委員として出向させていただきました。規則審査会議では主に全体会議及びコンプライアンス審査会議において各委員会の議案書確認を行う担いがあるのですが、現地での参加はあまり出来ておらず、主にZOOMで参加させていただきました。

ただ、県内外のメンバーと新たに出会える機会や、予算規模の異なる本会の議案書を確認できる機会は、地区や日本に出向をしないと経験出来ません。そして、多くの議案を抱える中で、円滑で本質的な会議の進行方法など、今までにはない新鮮な経験や学びをいただきました。特に会議を行うまでの事前準備の重要性を改めて実感いたしました。

結びに、本年度、出向の機会を与えていただいた第39代 美澤 貴人 理事長を始めとするメンバーに感謝申し上げ、今後の一般社団法人 牛久青年会議所運動の糧となるよう経験を活かしてまいります。

以上、出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所

出向報告

規則審査会議

委員 大西 敦

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 規則審査会議に委員として出向させていただきました。また、一般社団法人 下妻青年会議所から出向しております中山副議長や大和田小幹事がとても精力的にJC運動に取り組まれておりました。ZOOMでの参加やコンプライアンスシートの作業の協力などを行いましたが、お手伝いをする時間を十分に取ることができなかつたところが反省点です。次年度は、一般社団法人 下妻青年会議所がブロック大会を主管することもあり、今回の縁を大切にしたいと思っております。コンプライアンスの重要性は近年ますます増してきており、一般社団法人 牛久青年会議所としても注視してまいりたいと思っております。

結びに、今回出向の機会を与えていただいた第39代 美澤 貴人 理事長を始めとするメンバーの皆様感謝するとともに、一般社団法人 牛久青年会議所の運動展開のきっかけになれるよう尽力してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

以上、出向者報告とさせていただきます。

出向報告

ALL茨城連絡委員会

副委員長 黒崎 雄太

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 ALL茨城連絡委員会に副委員長として出向させていただきました。出向を支えていただきました、第39代 美澤 貴人 理事長をはじめLOMの皆様に心よりお礼申し上げます。

ALL茨城連絡委員会で私の担当は、茨城ブロック協議会の在り方を検討する会議を担当させていただきました。1月～6月毎月テーマを設け、茨城ブロック協議会の在り方についての議論の場を設け、ご意見をいただきました内容をもとに、茨城ブロック協議会の在るべき姿の「役割」「運営」「出向」「事業」の4つのテーマにおきまして、アクションプランを作成させていただきました。

今回の出向により、茨城ブロック協議会の在り方を学び直すとても貴重な1年となりました。この経験をLOMに還元し、2025年度の40周年に活かしていけるように今後も邁進してまいります。最後になりますが、このような機会を与えていただきました、第39代 美澤 貴人 理事長をはじめLOMの皆様に感謝申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

出向報告

ALL茨城連絡委員会

委員 佐藤 晃輔

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 ALL茨城連絡委員会に委員として出向させていただきました。

出向させていただいておりますが、なかなか参加する時間を作ることができませんでした。委員会が牛久の地で行われた時に参加させていただき、委員会から懇親会まで参加させていただきました。他LOMのメンバーと交流をすることで出向の楽しさを知る事ができました。

毎回の参加はできませんでしたが、出向という経験で自己成長にも繋がったと思います。

このような貴重な機会を与えていただきまして感謝申し上げます。

以上、出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会

出向報告

A L L 茨城連絡委員会

委員 佐藤 昌平

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 A L L 茨城連絡委員会に委員として出向させていただきました。

私自身、茨城ブロック協議会に出向するというのは初めての経験であり茨城県各地から集まった他 L O M のメンバーと交流できたことは、J C 活動のモチベーションを高める良い刺激となりました。

1年を通して出向者としての活動になかなか参加することができませんでしたが、少ない機会の中でも L O M 支援事業や能登半島地震の復興支援について考え議論することができました。今回得られたものを自身の L O M に還元していきたいと思います。

そして、初めての出向で私が右も左もわからないところを共に出向していた黒崎雄太君には副委員長として、ご指導いただきましてありがとうございました。

最後にこのような貴重な経験を与えていただきました第 3 9 代 美澤 貴人 理事長を始め、一般社団法人 牛久青年会議所のメンバーに重ねて感謝申し上げ、本年度の出向者報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会

出向報告

財政局

次長 大澤 泰弘

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 財政局に次長として出向させていただきました。

財政局では全ての事業の予算・決算・コンプライアンスのチェックをしており、財政局の審査が完了しないと事業の開催はできないという非常に重要な役割を担っております。卒業する年に財政局に出向させていただくことになり、最後に忙しい一年を過ごすことになるのか、これは大変だなという思いを持ちつつのスタートとなりました。

いざ始まってみると私たち局員の負担というものは感じられませんでした。その一方で野村局長がたくさん大変な思いをしていたのだと思います。そのおかげもあってやるべきことはやるけれど非常に楽しい時間を過ごすことができました。

本年度も全ての事業が終わり様々な経験をさせていただきました。関わっていただいた皆様ありがとうございました。以上、出向者報告とさせていただきます。

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 卒業生の言葉

卒業を迎えて

大澤 泰弘

卒業を迎える年になり、過去を振り返ってみると色々なことがあったなぁと改めて思います。その中でも、いつまでも忘れないだろうと思うのは、入会直後に参加した「8月例会 ひとりみんなのために～灼熱のドミノチャレンジ 2013～」です。何も分からず、ただ行って、言われたことをやって、僕にはよく分からない言い合いや言い争いもあって、すごいところだなぁと思いました。ドミノを並べるのと子供たちにかき氷を作ることが僕の役割でした。子供たちとドミノを3日間並べて、それでも時間内に終わらなくて、夜中までドミノを並べていたなぁ。3日間が終わってとうとうドミノを倒す日が来て、眠い目をこすりながらその場に立っていました。入会直後によくできたなぁと今では思います。牛久JCのYouTubeに当時の映像が残っているのでぜひ見てもらいたいです。あの時の子供たちはいま何をしているのかな。

これまでたくさん事業をしてきたけれど、やっぱり次世代の子供たちと一緒に何かをやるのがすごく楽しかったです。子供たちが大人になってどこかで一般社団法人 牛久青年会議所の名前を見た時に、そういえば子供の時にあんなことしたなぁと覚えてくれていたらまた嬉しいですね。

2013年に入会して、入会しなければ絶対会うこともないだろうと思う人たちと出会えました。本当にJCは不思議な団体です。やりたいこともやりたくないことも、得意なことも不得意なことも、その時自分に与えられたこと求められたことを頑張って挑戦してみたいです。様々な役職を経験させていただきましたが、その役職を経験したからこそ分かることもあります。上手くいってもいなくても、振り返ればよい思い出になります。現役のメンバーには多くの経験をしてもらいたいです。

なんか思い出話ばかりになってしまいましたが、本当は今後の現役メンバーのためになることを伝えられればとも思うのだけれど、たいしたこと言えずにすみません。2025年は忙しい年になると思いますが、素敵な1年になることを願っています。

これまで僕に関わっていただいたすべての皆様、本当にありがとうございました。

卒業を迎えて

山口 徹

入会してから10年間、振り返ってみればとても長く感じますが今は一般社団法人 牛久青年会議所に入会してからもう10年も経ったのかと感じております。

初めてオブザーブに参加した時はすごい堅い団体だと感じたことをよく覚えています。そのまま入会して、なんとなく委員会や例会に参加していましたが仕事の都合でちょっとしか参加できなかったり、懇親会から参加したにも関わらず先輩方はよく来てくれたねありがとうといつも声をかけてくれました。

そのような事があり段々一般社団法人 牛久青年会議所に対するイメージも変わっていきました。その中で辛いことや、楽しいこと、めんどくさいなと思うこと色々ありましたが入会していなかったら今の自分は居ないんじゃないかと思うほど卒業を迎えるにあたり一般社団法人 牛久青年会議所に入会して良かったと思います。

また、最後の年には、総括責任者という立場をいただき10年間一度もやってこなかった議案書を作ったり会議に出たりを右も左も分からない状態でしたがそこにはメンバーがいて、メンバーのご協力のもとやり遂げる事ができとても貴重な経験をさせていただく事ができました。

最後になりますが、今まで支えてくれた先輩の皆様、本当にありがとうございました。そして一般社団法人 牛久青年会議所のメンバーの皆様、本当にありがとうございました。今後も皆様のご活躍、心から応援しております。

卒業を迎えて

吉田 貴一

今から4年前、私は青年会議所に入会しました。あの時は何もわからない私でしたので、唯々役職者から言われたところに参加し、言われたことだけをやっていました。

そこから、様々な役職を経験させていただき、どの役職になろうともその役職の辛さがありました。議案書作成が辛くて退会しようとは何度思ったかわかりません。専務理事としてLOMをまとめるのも本当に辛かった。思い返しても辛いことや悔しいことばかりですね。しかし、今思えばその経験があったからこそ、人として、成長させていただき、気づけば幅広い年齢の方たちと出会え、同じ悩みの相談や同じ趣味が講じての遊び、また仕事のつながりと様々な話ができる仲間ができました。そんな仲間たちがいるからこそ、ここまで続けられたのだと思います。仲間だけではありません。職場の方、そして家族の理解がありここまで続けることができたのだと思っています。

この青年期を預けた学び舎で、かけがえのない時間を過ごすことができた。この学び舎で一生涯の最高の仲間に出会うことができた。

青年会議所の学びには、人を巻き込む能力を養うことができます。一人でやるのは簡単だからってやってしまっていることはないでしょうか？同じ喜びや達成感を味わう最高の瞬間を皆さんにも味わっていただきたいと思います。青年会議所の仲間はどんな時も必ず支えてくれます。そのことを信じて自分の限界に挑戦してください。

今はただ、青年会議所の時間から解放された後どんな人生が待ち受けているのか不安と、期待感が入り混じったそんな感情です。ここに誓います。どんな未来が待ち受けていようと、先輩として大きな背中を見せられるかっこいい先輩であり続けることをお約束します。今まで自分を変えてくれた先輩、そして一緒に駆け抜けてくれた皆さん本当にありがとうございます。いつまでも地域に必要な団体であり続けることを心から願っています。

卒業を迎えて

小山 大輔

「友達をやめるかJ Cに入るか」この言葉から私のJ Cライフがはじまります。

あっという間に月日は流れ気づけば40歳を迎え卒業です。今、振り返ってみると卒業までの時間は修練の連続でした。今までの私なら逃げだしていたと思います。

そんな私が卒業までJ Cを続けてこれたのは、ただ一つ、仲間との出会いに尽きます。苦楽を共にするという言葉をよく耳にしますが、今までには経験をしたことがない苦楽を一般社団法人 牛久青年会議所のメンバーと過ごしてまいりました。修練を迎える度に友情が深まり、どんな困難な状況でも笑って過ごすことができたと思います。

もしJ Cに入会していなかったら、もし途中でやめていたら、今でも想像するだけで恐怖心にかられることがあります。それぐらい私にとっての一般社団法人 牛久青年会議所は居場所でした。

そんな私も入会当初から本気で取り組んでいたかということとは違います。変わり始めたのは委員長職を経験させていただいたあたりからだと思います。委員長職についてはJ Cの楽しさを知ると同時に難しさにも直面しました。そんな時には同期の委員長たちと意見を交換したり、さまざまな角度から物事を考えられるようになりました。その経験が仕事場や青年会議所以外の場所で発揮できたときは物凄く嬉しかったことを覚えています。

時に厳しい意見もありました。仲の良いメンバーとぶつかることもありました。だからこそ常に感謝の気持ちをもって相手の本質を見抜くことが重要です。なぜ相手がその言葉を言ったのか、そうすると見えてくるものがたくさんあります。誰も相手が憎くて言っている訳ではありません。仲間の成長を願うからこそその言葉があるんです。現役の皆さんにはこのことをよく理解してほしいと思います。

卒業までの4年間、家族にも職場にもたくさんご迷惑をかけてまいりましたが、卒業後は恩返しができるように青年会議所で学んだことを糧にして成長した姿をみせていきたいと思います。

卒業まで支えて下さった一般社団法人 牛久青年会議所のメンバー、先輩諸兄姉の皆様には感謝し卒業いたします。短い間でしたが本当にありがとうございました。

時間は唯一の有限です、現役の皆様は益々のご活躍を期待しております。一足お先に卒業しますが気持ちはいつも一緒です。

「友達をやめるかJ Cに入るか」・・・

今ならこの言葉の意味が分かる気がします。

お世話になりました。

卒業を迎えて

永井 洋介

2021年に入会させていただいてからの約4年間を振り返ると、一つひとつが私の人生において大きな糧となりました。その反面、JCとは何かと問われると、「これがJCだ」と言い切ることができないというのも私の率直な想いです。

私は、幼い頃から亡き父に、何事も「石の上にも三年だからな」と言われていました。これは、どんなに辛くても我慢強く辛抱すれば、やがて何らかの変化があり、好転の芽が出てくるということわざです。

実際に、JC活動の中では、楽しいこと、嬉しいこと、辛いこと、納得のいかないこと、イライラすること、悲しいことなど多くの喜怒哀楽の機会を得ることができました。その経験の中では、「もう、やめてやる」と思ったこともありました。しかし、その度に幼い頃から言われていた言葉が浮かび、同時に青年会議所メンバーのことを考えることが多々ありました。卒業を迎えた今だから言えることなのかもしれませんが、あの時やめなくてよかったと真に思っています。そして、唯一の後悔がもう少し早く青年会議所に入会していたら、自身の考え方や行動などもっと多くの経験を積むことができ、自身の成長に繋がったのではないかとということです。

青年会議所の活動は、共に活動しているメンバー同士にしか分かり合えないことも多くあります。それは、家族や友人とは違う関係性であり、私は「同じ志しを持った仲間＝同志」だからではないかと思っています。「仲間＝同志」だからこそぶつかり合い協力し合うことの繰り返しによって生まれた絆は、他の何にも変えられない強固なものとなったと感じています。

後輩の中には、JC経験が豊富な方がたくさんいます。そんな皆さんには青年会議所がより良い団体となるべく、そして地域において欠かせない一つのピースとなれるように青年会議所運動に邁進していただきたいと思います。

青年会議所の活動の中では、自分ではやっていると思って行動していることがほとんどですが、どれだけ自分でやっていると思っても、周りから評価されなければ果たしてそれは本当にやっているということになるのでしょうか。人に評価されるというのととても大事なことであり、名誉なことであると思います。良いことも悪いこともすべて受け入れ、それを糧に次のステップに進むという形を続けることが青年会議所の本質なのではないかと私は思います。

私たち卒業生は続けたくても続けることはできません。その分、皆さんをサポートする義務があると思います。だからこそ、悩んだり迷ったりしたときには気軽に相談してきていただきたいと思いません。

最後に、青年会議所のメンバーとして迎え入れていただきました皆様に感謝を申し上げます。これまでたくさんの時間を共有していただき本当にありがとうございました。

卒業を迎えて

福田 将大

入会から卒業までの3年間、J Cの仲間、先輩諸兄姉の皆様方には大変お世話になりました。その中でも特に、同級生のメンバーに恵まれました。

私がJ Cを好きになれたのは、同級生の仲間と一緒に時を過ごせたからです。

最初から最後まで自由に振る舞う私を、許し、温かい心で支えてくれました。

感謝しかありません。

私は、この出会いを生涯大切にし、熱く、そして深く関わって行きたいと思います。

「義理人情なくして男は語れない」

J C現役生活で、皆様から頂いた沢山の優しさ、熱い想いは、私の生涯を通し「男」として、皆様に恩返しをしていきます。

これから現役で活動する仲間達へ。

信頼し合える仲間が必ず隣にいると思います。

沢山の仲間を作って熱いJ C生活を送ってください！

3年間という短い時間ではありましたが、本当にありがとうございました。

最後に

「男は強くなくては生きて行けない。しかし、優しくなくては生きていく資格がない」

By 高倉 健